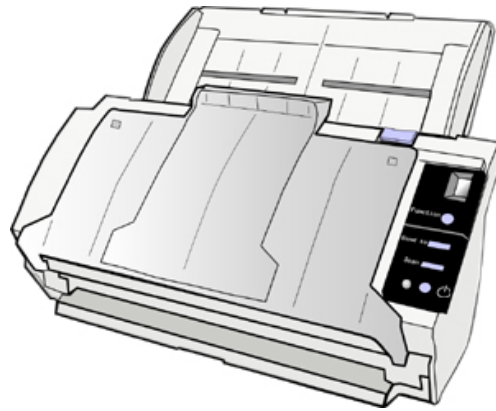


目次



- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 原稿を読み取ります
- 第3章 いろいろな読み取り方法について
- 第4章 日常のお手入れ
- 第5章 消耗品を交換します
- 第6章 困ったときには
- 第7章 ADFにセットする原稿について
- 第8章 オプション
- 第9章 スキャナの仕様
- 付録

fi-5110C イメージスキャナ オペレーターガイド P3PC-1082-03



All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED, 2006

目次



はじめに

法規制情報
 商標について
 注記および責任事項
 表記について
 安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



はじめに

このたびは、fi-5110Cイメージスキャナをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 fi-5110Cは、両面でカラー画像を読み取ることのできるスキャナ装置です。

▶ [コンテンツ一覧](#)

本書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております。

本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。

本装置の使用および本書に記載された内容に起因した損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責を負いません。

本装置の保証条件は、同梱の当社の保証書の規程をご覧ください。

本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後5年間です。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



法規制情報



■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準にもとづくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境での使用を目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従い正しく取り扱ってください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる装置は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国で統一されています。

■ 高調波ガイドラインについて

本製品はJIS C 61000-3-2 適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第3-2部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1相当当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

■ ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。



目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



法規制情報 (2)



■ 事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてのお願い

この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃却される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引取りをおこないますので、その際には、「PFUライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」（電話0467-70-7290）への問い合わせをお願いします。

当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルをおこなっています。

■ 水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。危険防止のために下記の事項を厳守してください。

口に入れないでください。
本製品の水銀が体内に入ると危険です。
気体や粉末、液体にしないでください。
本製品を焼いたり、砕いたり、科学的処理をした液体を吸引、誤飲すると危険です。
廃棄する場合は、関係国内法及び貴社廃棄物処理規定に従ってください。
本製品を廃棄する場合は、一般産業廃棄物や家庭用廃棄物とは別にしてください。

■ グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。



いつも地球を見守っている

<http://eco.fujitsu.com/jp>

■ 複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。



目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



法規制情報 (3)



■ 紙幣等の偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキャナを使用してプリンタに不正に印刷すると、その印刷物の使用如何にかかわらず下記の法律に違反し、罰せられます。

刑法 第148条、第149条、第162条、通貨及証券模造取締法 第1条、第2条 等

■ 著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

■ 本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。



目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



商標



商標および登録商標について

Microsoft、WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

ISISおよびQuickScanは、EMC Corporationの米国における登録商標および商標です。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、およびAcrobatロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

商標の表記について

本マニュアルでは、次の用語について省略して記述しています。

| | |
|-----------------------|---|
| Windows 95 | Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 |
| Windows 98 | Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 |
| Windows Me | Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 |
| Windows 2000 | Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版 |
| Windows XP | Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 |
| Windows NT 4.0 | Microsoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0 日本語版 Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版 |

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記していません。

| | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| Adobe Acrobat 7.0 | Adobe® Acrobat® 7.0 Standard 日本語版 |
|--------------------------|-----------------------------------|

本書では、本製品に添付されているAdobe Acrobatの使用を前提にして説明しております。特に指定がない場合は、本製品に添付されているAdobe Acrobatのことを指します。

また、本製品に添付されている Adobe Acrobat は、今後予告なくバージョンを変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。本書の説明が実際の画面と異なる場合は、「Acrobat のヘルプ」を参照して下さい。



目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



商標 (2)



■ 製造・販売元

株式会社PFU

〒212-8563

神奈川県川崎市幸区堀川町 580番地 (ソリッドスクエア東館)

TEL : (044) 540-4538

All Rights Reserved, Copyright(C) PFU LIMITED 2006



目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



注記および責任事項

本製品をお使いいただく前に、このマニュアルを熟読してください。本製品を正しくご使用いただけないと、ユーザーまたは第三者に予期せぬ事故が起こることがあります。

本書の内容の全部または一部を複製すること、および本製品添付のソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております。

本書の内容は、改善のため予告無く変更されることがあります。

本装置の使用および本書に記載された内容に起因する損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切責任を負うものではありません。

■ 使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、装置本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任において使用していただきます。

本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。

また、本製品の障害の保証範囲は、いかなる場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用添付ソフトウェアについては、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。

目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



表記について



■ 安全にお使いいただくために

本マニュアルには、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をお使いになる前に、本マニュアルを熟読してください。特に、本マニュアルに記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。

また、本マニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

■ 本マニュアルで使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や存在を未然に防止するために、次のような表示をしています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。



目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録









表記について(2)



■ 本マニュアルで使用している記号について

本マニュアルでは、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。

| | |
|---|---|
|  | 特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。 |
|  | 操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。 |
|  | 三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵が描かれています。 |
|  | 丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。 |
|  | 黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な支持内容を表す絵が描かれている場合もあります。 |
|  | このアイコンをクリックすると動画が再生します。 |



注記

Windows XP Service Pack 2 をご使用の場合

Internet Explorerのセキュリティ機能が働き、動画が再生されないことがあります。正しく再生させるためには、ブロックされているアクティブコンテンツを許可してください。



目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



表記について (3)



■ 本マニュアルに記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本マニュアルに記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアの取扱説明書を参考にして、実際の画面に従って操作してください。なお、本マニュアルに記載している画面は、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバ、FUJITSU ISISドライバ、イメージキャプチャリングソフトウェア ScandAll 21、QuickScan™ およびAdobe® Acrobat® のものです。

■ 警告ラベルについて

本製品には以下のような警告ラベルが貼付けられています。



高温ラベル

このラベルが貼り付けてある個所は高温になる場合があります。火傷を恐る恐れがありますので十分注意してください。

警告ラベルは絶対にはがさないでください。また、汚れてメッセージなどが見にくくなった場合は [PFU イメージング サービス&サポートセンター](#)までご連絡ください。

■ メンテナンスについて

本製品の修理は、お客様自身で行わないでください。

製品をお求めになった販売店、または [PFU イメージング サービス&サポートセンター](#)にご連絡ください。

■ 使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、装置本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任において使用していただきます。

本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。

また、本製品の障害の保証範囲は、いかなる場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用添付ソフトウェアについては、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。



目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



安全上のご注意



警告

以下では、本マニュアルに記載されている重要な警告について解説します。



電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源ケーブルや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。



指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する

指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。また、たこ足配線をしないでください。



濡れた手で電源ケーブルを触らない

濡れた手で電源プラグを抜き差ししますと、感電の原因となることがあります。



電源プラグのほこりは、よく拭き取る

電源プラグの金属部および金属部の取り付け面に、ほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。



目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



安全上のご注意 (2)



警告

以下では、本マニュアルに記載されている重要な警告について解説します。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



異臭がしたら使用しない

万一、機器から発熱や発煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販売店または[PFUイメージングサービス&サポートセンター](#)に連絡してください。



機器を破損したら電源を切る

機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店または[PFUイメージングサービス&サポートセンター](#)に連絡してください。



内部に水や異物を入れない

開口部 (通風口など) から内部に金属類などの異物を落とし込んだりしないでください。濡れた原稿やクリップなどのついた原稿をスキャンしないでください。本体に水をかけたり濡らしたりしないでください。異物 (水、金属片、液体など) が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店または[PFUイメージングサービス&サポートセンター](#)に連絡してください。特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。



むやみに内部を開かない

装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。内部の部品に触ると、火災や感電の原因になる場合があります。



本装置は日本国内専用です

本装置は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。

目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



安全上のご注意 (3)

**注意**

以下では、本マニュアルに記載されている重要な注意について解説します。

**装置を不安定なところに置かない**

スキャナのどの部分も、机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。装置を不安定なところに置かないでください。装置を振動が少なく、傾かないような平らな場所に置いてください。スキャナ本体やその他の装置の重量を支えられる、堅牢な場所に置いてください。

**電源プラグを確実に差し込む**

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

**通気口をふさがない**

通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。

**装置の上に重いものを載せない、上に乗らない**

装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。

**寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、すぐに使用しない**

寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、原稿読み取り不良となる場合があります。暖かい部屋に1~2時間放置して、内部が乾いてから、使用してください。

**装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く**

ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意してください。



目次



はじめに

法規制情報

商標について

注記および責任事項

表記について

安全上のご注意

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



安全上のご注意 (4)



静電気を避ける

強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。



エアスプレーを使用しない

清掃などの目的でエアスプレーを使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。



歯車やローラなどに衣服やネクタイ、髪を巻き込まないようにする

歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まないようにしてください。けがの原因となることがあります。



長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光の当たる場所に置かない

直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

1.1 各部の名称とはたらき

1.2 操作パネルの機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



第1章 各部の名称と機能

この章では、各部の名称とはたらきについて解説します。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

1.1 各部の名称とはたらき

1.2 操作パネルの機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

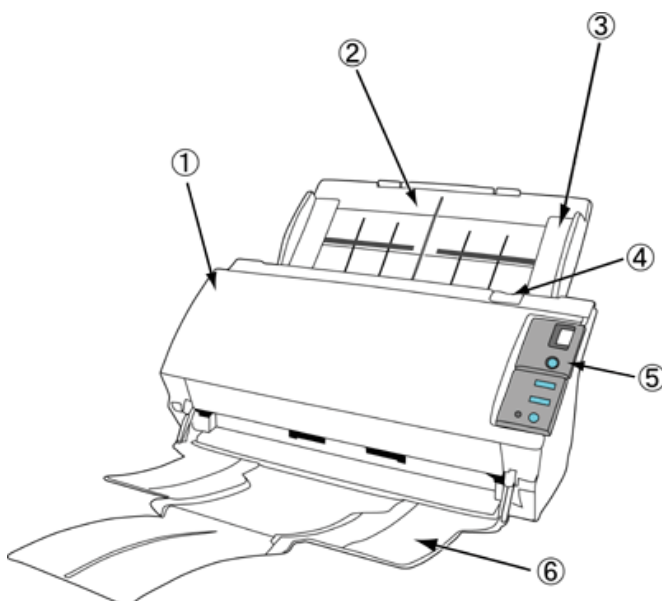
付録



1.1 各部の名称とはたらき



■ 前面



| No. | 名称 | 機能 |
|-----|----------------|---|
| 1 | ADF (自動給紙部) | 原稿を読み取り位置まで自動的に繰り込みます。 |
| 2 | ADF給紙シュート | 表面を下にして、ここに原稿を置きます。 |
| 3 | サイドガイド | 原稿が傾いて搬送されないように原稿の幅に合わせてセットします。 |
| 4 | ADF オープンレバー | ADFを開くときにはこのレバーを引きます。 |
| 5 | 操作パネル | このパネルは、ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、LEDから構成されています。装置の両側の2箇所があり、左右どちらからでも操作することができます。 |
| 6 | スタッカー | ADFで読み取られた原稿はここに積み重なります。 |



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

1.1 各部の名称とはたらき

1.2 操作パネルの機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

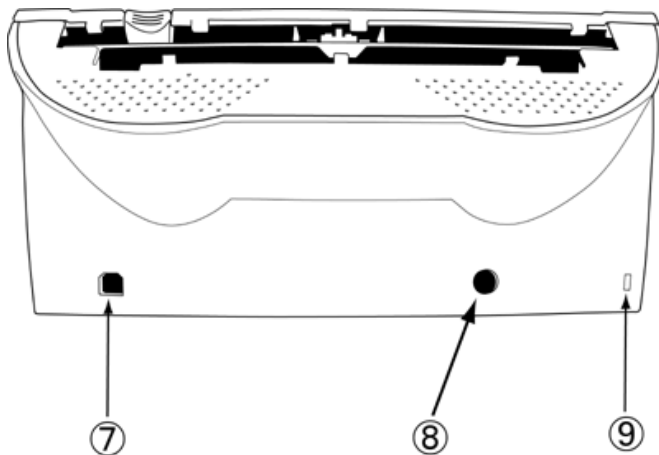
付録



1.1 各部の名称とはたらき(2)



■ 背面



| No. | 名称 | 機能 |
|-----|------------------|-------------------------|
| 7 | USB インターフェースコネクタ | USB インターフェースケーブルを接続します。 |
| 8 | ACアダプター用コネクタ | ACアダプターを接続します。 |
| 9 | セキュリティケーブルスロット | セキュリティケーブルを接続します。 |



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

1.1 各部の名称とはたらき

1.2 操作パネルの機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

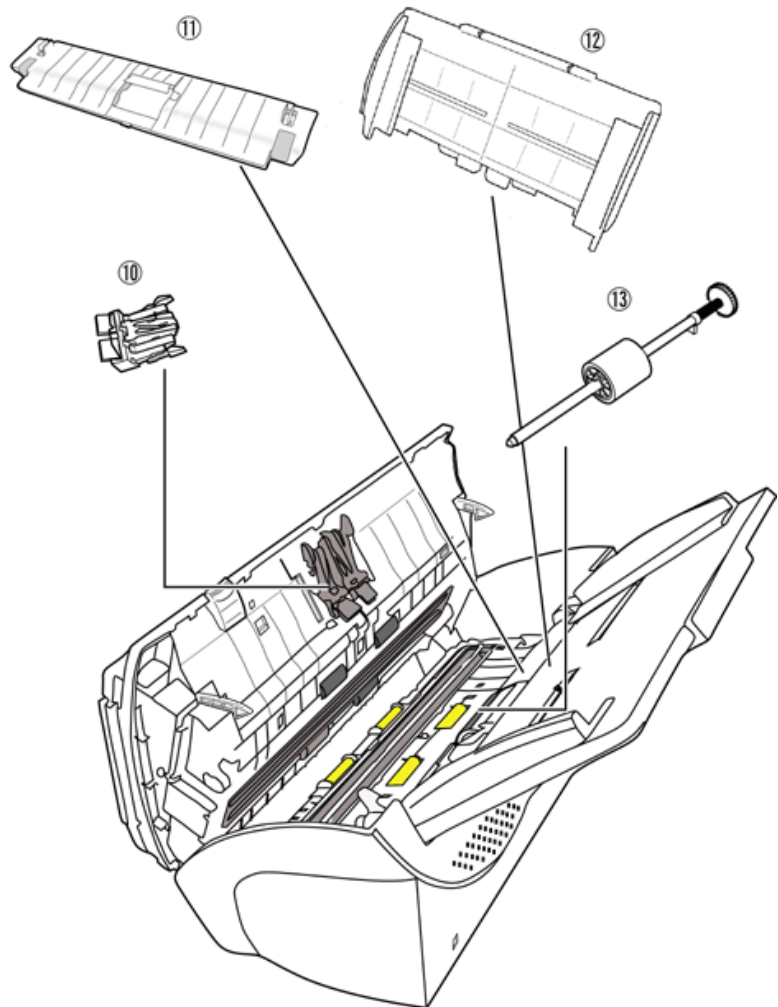
付録



1.1 各部の名称とはたらき(3)



■ 取り外し可能部品



| No. | 名称 |
|-----|-----------|
| 10 | パッドユニット |
| 11 | シートガイド |
| 12 | ADF給紙シュート |
| 13 | ピックローラ |



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

1.1 各部の名称とはたらき

1.2 操作パネルの機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

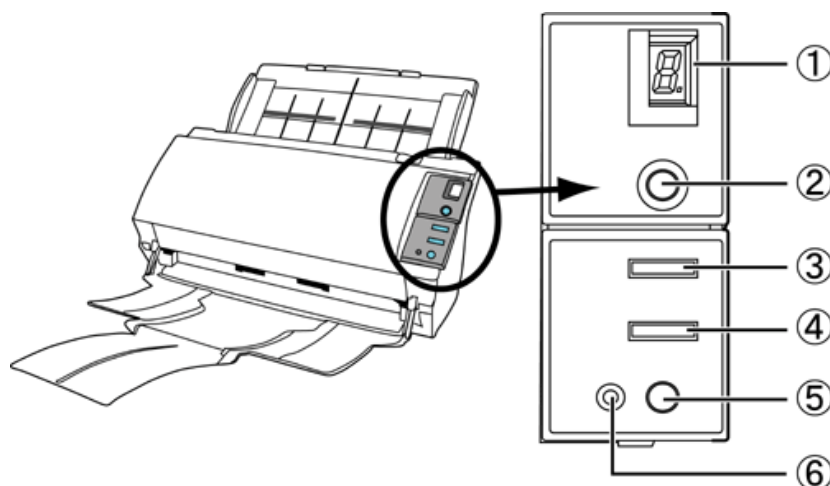
第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



1.2 操作パネルの機能



| No. | 名称 | 機能 |
|-----|-------------------|--|
| 1 | ファンクションナンバーディスプレイ | 装置の状態を表示します。 |
| 2 | Functionボタン | Send to ボタンで使用する設定の番号を切り換えます。 |
| 3 | Send toボタン | 関連付けされたアプリケーションを起動します。 |
| 4 | Scanボタン | |
| 5 | 電源ボタン | 電源の投入、切断をおこないます。 |
| 6 | LED | スキャナの電源が投入されているときに点灯します。 |

■ ファンクションナンバーディスプレイの表示内容について

| 表示内容 | 説明 |
|------|---|
| 8 | 電源投入直後に点灯します。 |
| P | 電源の投入後、イニシャル処理実行中であることを意味します。 |
| 0 | 電源の投入後、イニシャル処理実行中で、かつイニシャル処理が終了間近であることを意味します。 |
| 1 | 電源の投入後、イニシャル処理を実行し、正常に処理が終了したことを意味します。また、この状態を「レディ状態」と言います。 |
| U | イメージスキャナで原稿を読み取り中に、解除可能なエラーが発生したことを意味します。「U」とエラー番号(1、2、4)を交互に表示します。なお、エラー表示中にScanボタンかSend to ボタンを押すと、レディ状態("1")に戻ります。 |
| E | イメージスキャナがイニシャル処理中、または原稿の読み取り中に、装置異常(アラーム)が発生したことを意味します。「E」とアラーム番号(2~99、c)を交互に表示します。なお、アラーム表示中にScanボタンかSend to ボタンを押すと、レディ状態("1")に戻ります。このアラームが発生した場合は、電源を再投入してください。電源を再投入した後も引き続きアラームが発生するときは、担当保守員、ご購入の販売店または PFUイメージングサービス&サポートセンター に連絡してください。 |

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



第2章 原稿を読み取ります

この章では、スキャナの基本的な操作について説明します。

この章では、Windows XP の画面を例に説明しています。ご使用のOSによって表示される画面、および操作が多少異なります。また、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバ、およびFUJITSU ISIS スキャナドライバをアップデートすると、この章で記載している画面、および操作が多少異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供される取扱説明書を参照してください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.1 電源を投入します



ここでは、電源の投入について説明します。以下に、電源を投入する手順を示します。

1. 操作パネルの電源ボタンを押します。
電源が投入され、操作パネルの緑色のLEDランプが点灯します。
なお、イニシャル処理実行中は操作パネルのファンクションナンバーディスプレイが"8" "P" "0" "1"の順に変化します。
操作パネルが"1"の状態が、レディ状態です。



電源ボタン



ヒント

電源を切断するときは、電源ボタンを2秒間以上押してください。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.1 電源を投入します(2)



■ 省電力モードについて

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナが操作されない場合に使用電力を低電力状態に保つモードです。

スキャナの電源を投入したままで15分以上何も操作しないと、自動的に省電力モードに切り替わります。省電力モードに切り替わると、操作パネルのファンクションナンバーディスプレイが消えます。操作パネルの緑色のLEDランプは点灯したままです。

省電力モードから復帰するためには、次のいずれかの操作をおこないます。

1. ADF給紙シュートに原稿をセットする
2. 操作パネルのボタンを押す
電源ボタンを2秒以上押しつづけると、電源が切れます。
3. スキャナドライバからコマンドを実行する



目次



| |
|------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 2.1 電源を投入します |
| 2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります |
| 2.3 原稿の読み取り方法 |
| 2.4 スキャナドライバの使い方 |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります



1. 原稿を確認します。
 - ① セットする原稿の幅がすべて同じであることを確認します。
 - ② 原稿の枚数を確認します。
 セットする原稿枚数の目安は、次のとおりです。
 - ・ A4サイズ以下の場合、原稿の厚みが5 mm以下になる枚数 (80 g/m²用紙で50枚)
2. 次の手順で原稿をさばきます。



- ① 両手で原稿の両端を軽くつかみ、原稿を湾曲させます。
- ② この動作を2 ~ 3回繰り返します。
- ③ 原稿の向きを90度回転し、同じようにさばきます。
- ④ 原稿の端をそろえます。



目次



はじめに

第4章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります(2)



3. ADF給紙シュートに原稿をセットします。

原稿の長さに合わせてADF給紙シュートの取っ手を引き上げてから原稿をセットします。

①

取っ手



② 原稿の表面（読み取り面）がADF給紙シュート側になるように、原稿をセットします。

②



原稿の表面をADF給紙シュート側にします。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



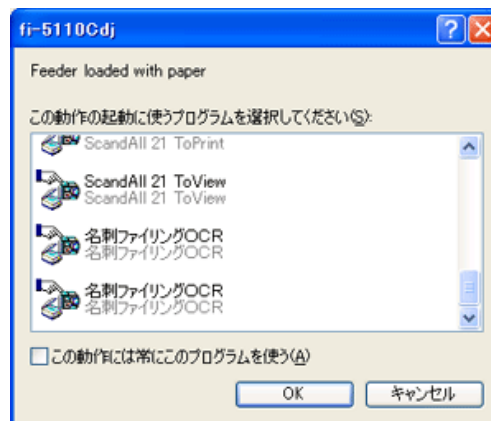
2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります(3)



注記

Windows XP をご使用の場合：

ADFに原稿をセットしたときに以下の画面が表示される場合があります。



ここでは、読み取りに使用するアプリケーションを指定することができます。この画面の詳細については、「[付録 1 \[Scan\]ボタンおよび\[Send to\]ボタンを使う前に](#)」を参照してください。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



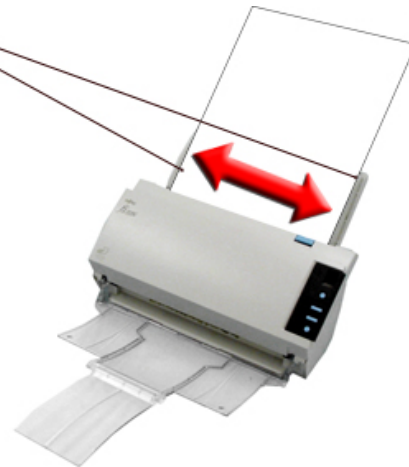
2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります (4)



4. 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。

サイドガイド



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります (5)



ヒント

スタッカーを使うと、読み取りが終了した原稿がばらばらになりません。スタッカーは次のように使用します。

1. スタッカ - の取っ手に指をかけ、手前に起こします。



2. くぼみに指をかけ、手前に起こします。



5. スキャナ読み取りできるアプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。

ScandAll 21からの読み取り手順については、"[2.3 原稿の読み取り方法](#)"を参照してください。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

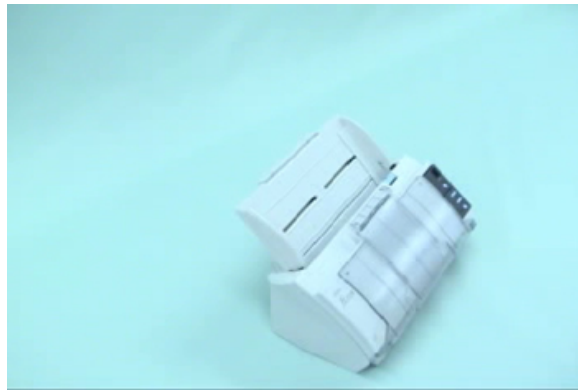
付録



2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります (6)



ADFに原稿をセットするまでの手順を動画で確認できます。



目次



| |
|------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 2.1 電源を投入します |
| 2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります |
| 2.3 原稿の読み取り方法 |
| 2.4 スキャナドライバの使い方 |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



2.3 原稿の読み取り方法



1. スキャナのADF給紙シュートに、原稿をセットします。

原稿のセット方法については、本章の["2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります"](#)を参照してください。

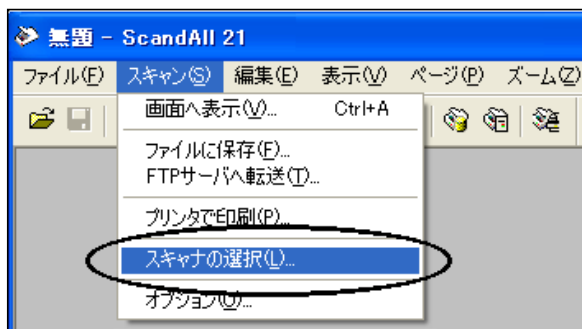
2. ScandAll 21を起動します。

[スタート]メニューから[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21]の順に選択します。

ScandAll 21が起動されます。

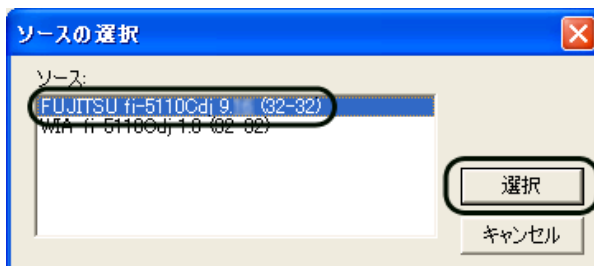
3. 使用するスキャナを指定します。

[スキャン]メニューから[スキャナを選択]を選択します。

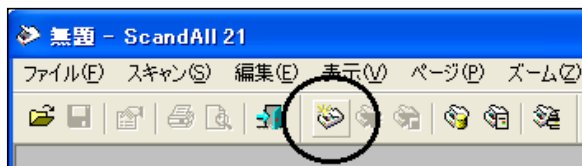


→ [ソースの選択]ダイアログボックスが表示されます。

「FUJITSU fi-5110Cdj」を選択して、[選択]ボタンをクリックします。



4. ツールバーの[スキャン - 画面へ表示]ボタンをクリックします。



→ [TWAINドライバ]ダイアログボックス（読み取り条件を設定する画面）が表示されます。



目次



| |
|------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 2.1 電源を投入します |
| 2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります |
| 2.3 原稿の読み取り方法 |
| 2.4 スキャナドライバの使い方 |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |

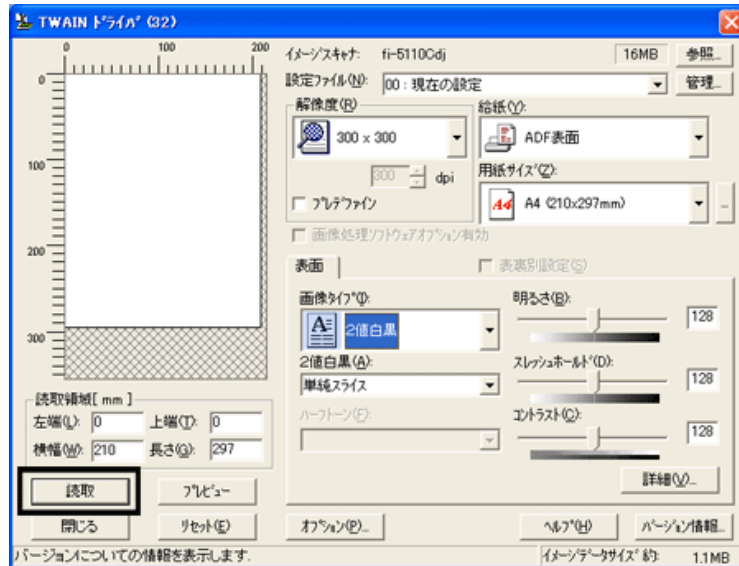


2.3 原稿の読み取り方法(2)

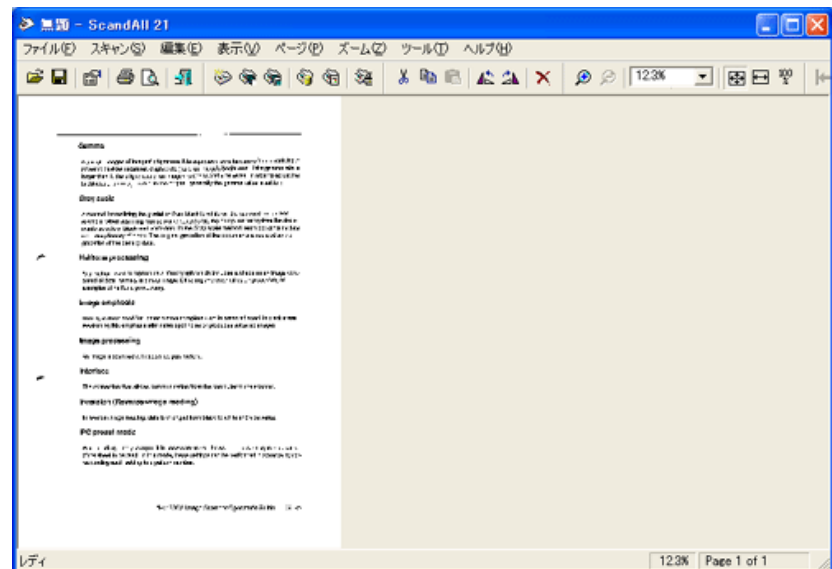


5. 読み取り解像度や用紙サイズなどを設定して、【読取】ボタンをクリックします。

[TWAINドライバ]ダイアログボックスの設定については、「[2.4 スキャナドライバの使い方](#)」を参照してください。



➡ 原稿が読み取られ、ScandAll 21の画面にイメージが表示されます。



これ以外のいろいろな読み取り操作については、「[第3章 いろいろな読み取り方法について](#)」を参照してください。ScandAll 21の機能・操作については、「[ScandAll 21ヘルプ](#)」を参照してください。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.4 スキャナドライバの使い方



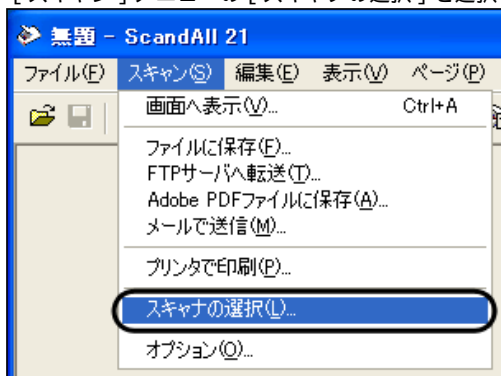
■ FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ

FUJITSU TWAIN32スキャナドライバは、TWAIN規約に対応したアプリケーションを用いて、スキャナから読み取りをおこなうためのドライバソフトウェアです。

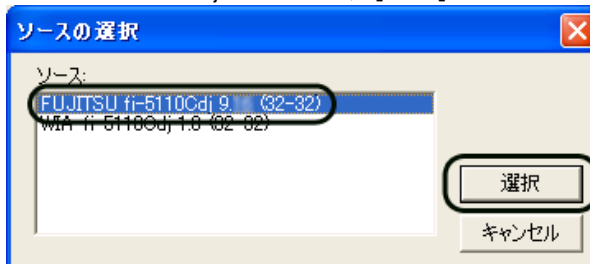
以下に、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバを使用した一般的な読み取り手順について説明します。ここでは、「ScandAll 21」を用いて説明します。

1. 基本的な読み取り手順

- ① アプリケーションを起動します。
[スタート]メニューから、[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Window] - [ScandAll 21] を選択します。
- ② スキャナ選択画面を表示して、使用するスキャナ名を指定します。
[スキャン]メニューの[スキャナを選択]を選択します。



- ③ 「FUJITSU fi-5110Cdj」を選択して、[選択]ボタンをクリックします。



- ④ スキャナに原稿をセットします。
原稿のセット方法の詳細については、「[2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります](#)」を参照してください。
- ⑤ FUJITSU TWAIN32スキャナドライバ画面を起動します。
[スキャン]メニューの「画面に表示」を選択します。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.4 スキャナドライバの使い方 (2)

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 ▶



ヒント

ScandAll 21では、以下のような読み取り方法があります。

「画面へ表示」：読み取った画像を画面に表示します。

「ファイルに保存」：読み取った画像をファイル(*.BMP, *.TIF, *.JPG)に保存します。

「FTPサーバへ転送」：読み取った画像をFTPサーバに転送します。

「Acrobat PDFファイルに保存」：読み取った画像をPDFファイルにして保存します。

(あらかじめ、Adobe Acrobatをインストールしておく必要があります。)

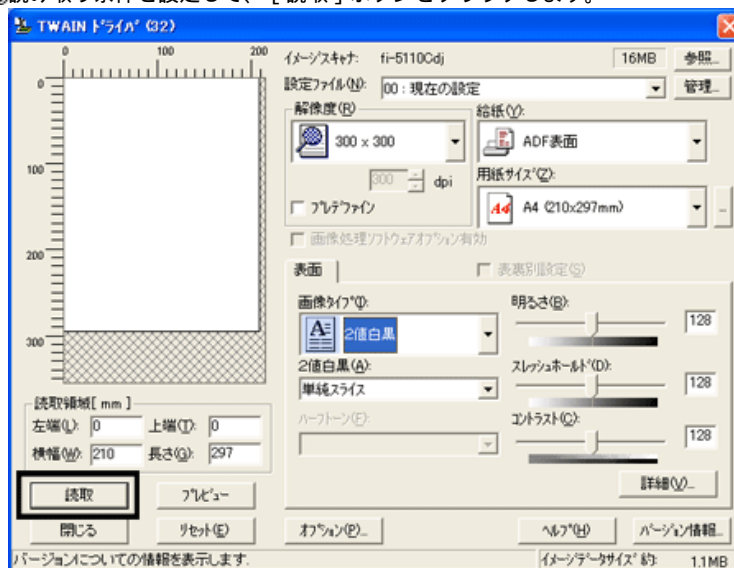
「Microsoft Share Point Portal Serverへ転送」：

読み取った画像をMicrosoft Share Point Portal Serverに転送します。

「メールで転送」：読み取った画像を添付ファイルとして、メールソフトウェアを起動します。

詳細は、「ScandAll 21 ヘルプ」を参照してください。

⑥読み取り条件を設定して、[読取] ボタンをクリックします。



この画面で設定できる内容については、「FUJITSU TWAIN32スキャナドライバの設定」(12ページ)を参照してください。

→ 原稿が読み取られ、ScandAll 21の画面にイメージが表示されます。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 ▶

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

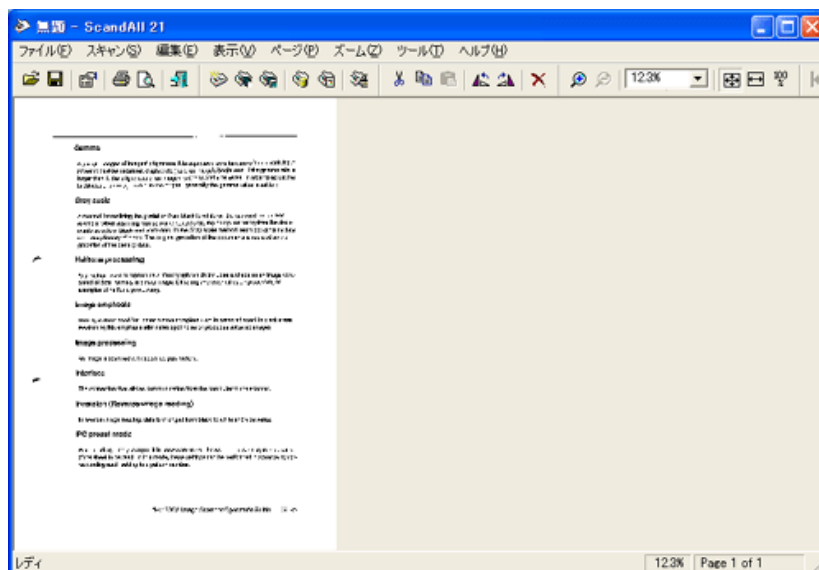
第9章 スキャナの仕様

付録



2.4 スキャナドライバの使い方(3)

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 ▶



アプリケーションの設定によっては、画像が表示されない場合があります。詳しくは、お使いのアプリケーションの取扱説明書または、ヘルプを参照してください。例) ScandAll 21の場合、「ファイルに保存」で読み取りをおこなうと、読み取った画像は画面には表示されません。

- ⑦読み取った画像を保存します。
[ファイル]メニューの「名前をつけて保存...」を選択して、読み取った画像をファイルに保存します。
続けて新しい読み取りをおこなう場合は、手順4に戻ってください。
- ⑧アプリケーションを終了します。
[ファイル]メニューの「終了」を選択します。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 ▶

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

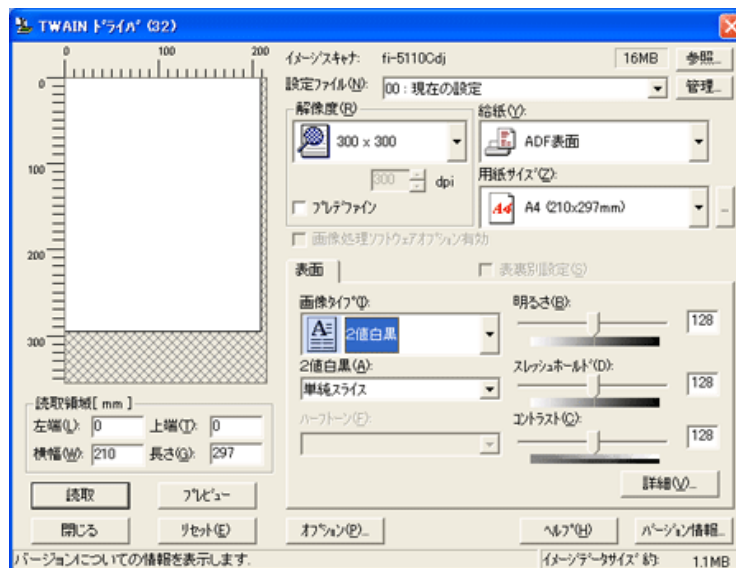
付録



2.4 スキャナドライバの使い方(4)



2. FUJITSU TWAIN32スキャナドライバの設定



FUJITSU TWAIN ドライバの設定は、この画面でおこないます。
次ページ以降に、代表的な設定項目について説明します。

- 各機能の詳細については、「TWAINドライバ ヘルプ」を参照してください。
([ヘルプ] ボタン、または [F1] キーを押すと表示されます。)
- お使いのスキャナ装置の機種によって、設定できる項目や、設定範囲が異なります。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.4 スキャナドライバの使い方(5)

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 ▶

■ 解像度

原稿を読み取る際の解像度を指定します。定型（リストから選択）およびカスタム指定（1dpi刻みで、任意の解像度を指定）ができます。また、「ブレデファイン」をチェックすると、あらかじめ設定された、「ノーマル」、「ファイン」、「スーパーファイン」の3つの解像度設定によって、簡単に読み取りをおこなうことができます。ブレデファインの設定は、[...] ボタンでお好みの設定に変更することもできます。

■ 給紙

原稿の読み取り面（表面/裏面/両面）、長尺帳票の設定をおこないます。

■ 用紙サイズ

読み取る原稿のサイズを、表示されるリストの中から指定します。[...] ボタンで、任意の原稿サイズを、最大3つまでカスタム設定として登録することができます。また、表示されるリストの並び順を変更することもできます。

■ 画像タイプ

読み取った画像を出力するイメージのタイプを指定します。

| | |
|---------|---|
| 2値白黒 | 白と黒の2階調で読み取ります。 |
| ハーフトーン | 白と黒の2階調で中間調処理をおこなって読み取ります。 |
| グレースケール | 読み取った画像を白黒の明暗で階調表示します。256階調および4ビット(16階調)の中から選びます。 |
| カラー | カラーで読み取ります。24ビット、256色、8色の中から選びます。 |

■ [読取] ボタン

現在の設定で、読み取りを開始します。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 ▶

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.4 スキャナドライバの使い方(6)

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10

■ [プレビュー] ボタン

読み取り結果を事前に確認することができます。
現在の設定で試し読みをおこない、プレビューウィンドウに表示します。

■ [閉じる] ボタン

現在の設定を保存して、画面を閉じます。

■ [リセット] ボタン

変更した設定項目を元に戻します。

■ [ヘルプ] ボタン

TWAINドライバのヘルプを表示します。[F1] ボタンでも表示することができます。

■ [バージョン情報] ボタン

現在TWAINドライバのバージョン情報を表示します。

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10

目次



| |
|------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 2.1 電源を投入します |
| 2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります |
| 2.3 原稿の読み取り方法 |
| 2.4 スキャナドライバの使い方 |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |

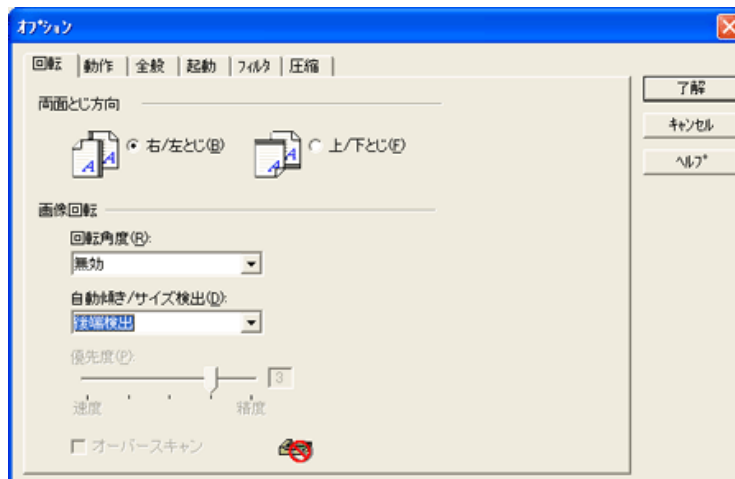


2.4 スキャナドライバの使い方(7)

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 ▶

■ [オプション] ボタン

以下の画面で、オプション機能の設定をおこないます。



[回転] タブ

両面原稿のとじ方向、画像の回転、自動傾き/サイズ検出などの設定をおこないます。

[動作] タブ

キャッシュ、マルチフィード検出、ブランクページスキップなどの設定をおこないます。

[全般] タブ

TWAINドライバ画面に表示される単位の設定をおこないます。
ミリ (mm)、インチ (inch)、ピクセル (pixel) の中から選択します。

[起動] タブ

スキャナ操作パネルに関する設定をおこないます。

[フィルター] タブ

画像処理フィルターの設定をおこないます。

縁消しフィルター：読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶします。

デジタルエンドーサ：読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加します。

[圧縮] タブ

JPEG転送時の圧縮率の設定をおこないます。

◀ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 ▶

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.4 スキャナドライバの使い方(8)

■ [詳細] ボタン

画像処理に関するさらに詳細な設定をおこないます。
輪郭処理、ガンマ補正、ドロップアウトカラー、白黒反転、色反転などの設定が可能です。

■ [管理] ボタン

設定ファイルの管理をおこないます。
TWAINドライバ画面で設定した内容を、[設定ファイル] に保存しておくことによって、簡単に読み取り設定を変更することができます。

各機能の詳細については、「TWAINドライバのヘルプ」を参照してください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.4 スキャナドライバの使い方(9)



■ FUJITSU ISIS スキャナドライバ

ここではFUJITSU ISISスキャナドライバとQuickScan Proの基本操作について説明します。

お使いのアプリケーションによって操作手順が異なる場合があります。

QuickScan Pro以外のアプリケーションの場合、当該アプリケーションのガイドもしくはヘルプを参照してください。

1. 基本的な読み取り手順

アプリケーションを起動します。

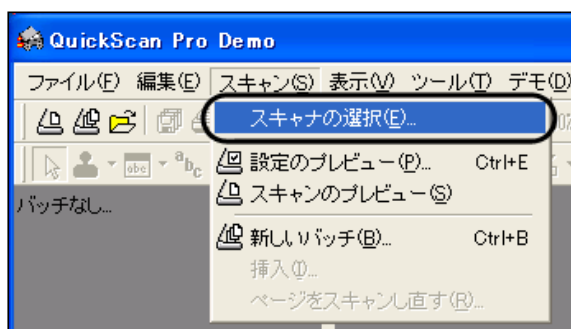
①

[スタート] から [プログラム] - [QuickScan] の順に選択し、[QuickScan] をクリックします。

②

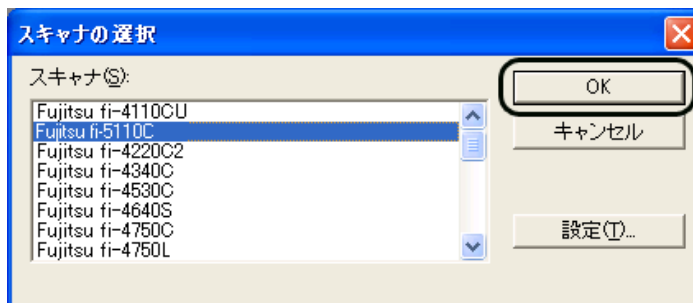
メニューバーから [スキャン] - [スキャナを選択] を選びます。

→ 以下の画面が表示されます。



③

FUJITSU fi-5110Cを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



④

メニューバーから [スキャン] - [新しいパッチ...] を選択します。



目次



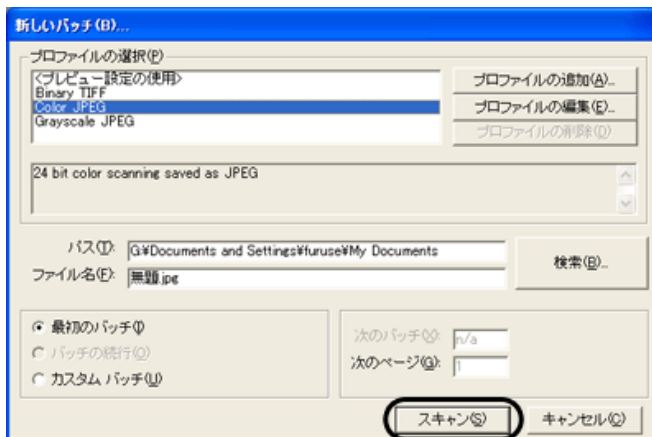
| |
|------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 2.1 電源を投入します |
| 2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります |
| 2.3 原稿の読み取り方法 |
| 2.4 スキャナドライバの使い方 |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



2.4 スキャナドライバの使い方(10)

◀ 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 ▶

- ⑤ 以下の画面が表示されるので、プロフィールを選択します。



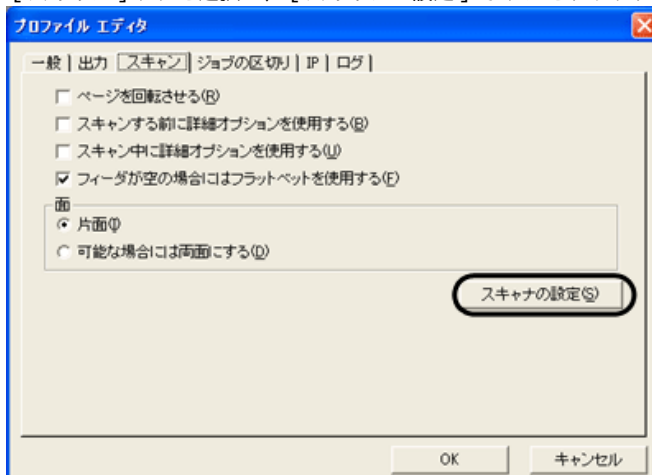
- 新しくプロフィールを作成する場合

既存のプロファイルの中から一つを選択して、[プロフィールの追加...] ボタンをクリックします。
→ 選択したプロフィールを基に、新規プロフィールが作成されます。
- 既存のプロファイルの設定を変更して使用する場合

既存のプロファイルの中から一つを選択して、[プロフィールの編集...] ボタンをクリックします。
→ 選択したプロフィールの設定が変更されます。
- 既存のプロファイルを使用する場合

既存のプロファイルの中から一つを選択します。
→ 選択したプロフィールの設定で、読み取りをおこないます。
→ 手順 9 に進んでください。

- ⑥ [スキャン] タブを選択し、[スキャナの設定] ボタンをクリックします。



→ FUJITSU ISIS スキャナドライバのダイアログが表示されます。

◀ 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 ▶

目次



| |
|------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 2.1 電源を投入します |
| 2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります |
| 2.3 原稿の読み取り方法 |
| 2.4 スキャナドライバの使い方 |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



2.4 スキャナドライバの使い方(11)

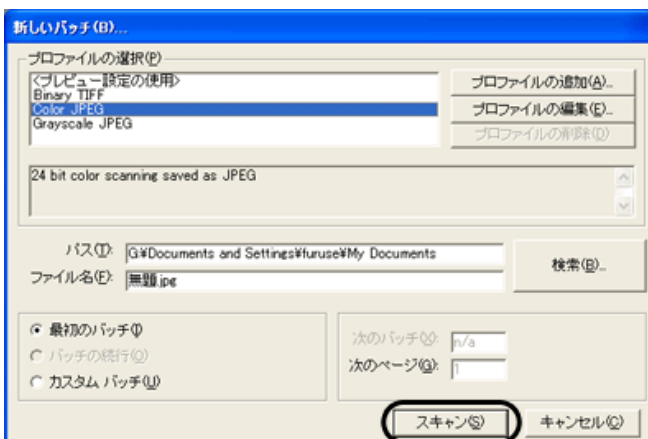
◀ 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 ▶

- ⑦ 必要な項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



このダイアログボックスの詳細については、「FUJITSU ISISスキャナドライバの設定」を参照してください。

- ⑧ [プロファイルエディタ] ダイアログが表示されます。[新しいバッチ...] ダイアログに戻る場合は、
[OK] ボタンをクリックします。
読み取る原稿をADF給紙シュートにセットしてください。
- ⑨ [スキャン] ボタンをクリックすると読み取りが開始されます。



→ 原稿が読み取られ、画面にイメージが表示されます。QuickScanの機能や操作については、「QuickScan 概要」もしくは「QuickScan ヘルプ」を参照してください。[スタート]メニューから
[プログラム] - [QuickScan] を選択し、参照するファイルを開いてください。

◀ 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 ▶

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

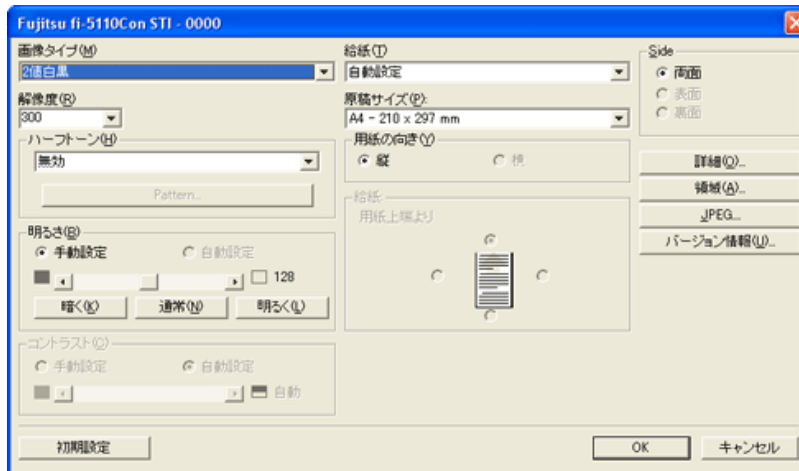
付録



2.4 スキャナドライバの使い方(12)



2. FUJITSU ISISスキャナドライバの設定



■ 画像タイプ

メニューから使用する色調モードを選択します。以下のモードが設定できます。

| | |
|---------------|--|
| 2値白黒 | 白黒2値のしきい値にしたがって原稿を読み取ります。設定したしきい値に従って白と黒が判別されます。このモードは線画や文字の読み取りに適しています。 |
| 16-階調グレースケール | 原稿は14段階の中間階調と白黒の2階調で読み取ります。このモードでは1ピクセルあたり4ビットを使用します。 |
| 256-階調グレースケール | 原稿は254段階の中間階調と白黒の2階調で読み取ります。このモードでは1ピクセルあたり8ビットを使用します。 |
| 24-ビットカラー | 原稿は24ビットフルカラーで読み取られます。このモードはカラー写真の読み取りに適していますが、グレースケールモードよりメモリを消費します。 |
| 画像処理 | このモードを利用するには、別売りの画像処理ソフトウェアオプションがインストールされている必要があります。詳しくは「画像処理ソフトウェアオプション取扱説明書」を参照してください。 |

■ 解像度

1インチあたりのピクセル数(ドット数)を指定します。指定には、あらかじめ設定された解像度を一覧から選択するか、50から600の間の値を入力します。解像度が高いほど消費されるメモリも増加します。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.4 スキャナドライバの使い方(13)

10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16

■ ハーフトーン

リストからハーフトーンのパターンを選択します。この項目は画像タイプで2値白黒が設定されている場合に有効になります。

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 濃い写真画像用 | 色調の濃い写真の読み取りに適しています。 |
| 濃い文字 + 写真混在用 | 文字と写真を含んだ色調の濃い原稿の読み取りに適しています。 |
| 淡い写真画像用 | 淡い色調の写真の読み取りに適しています。 |
| 淡い文字 + 写真混在用 | 文字と写真を含んだ色調の淡い原稿の読み取りに適しています。 |
| 誤差拡散法 | ピクセル間の格差が最小化されます。 |
| ダウンロード | ダウンロードしたディザパターンを用いて処理をおこないます。 |

■ 明るさ

1 (最も暗い) から255 (最も明るい) までの値でイメージ全体の明るさを設定します。画像を明るくするには値を高くし、暗くするには値を低く設定します。

■ コントラスト

読み取った画像のコントラストを設定します。1 (ソフト) から255 (シャープ) までの値でイメージ全体の明るさを設定します。陰影を際立たせる場合は値を高く設定します。

10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



2.4 スキャナドライバの使い方(14)

10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16

■ 給紙(E)

読み取り方法を指定します。

| | |
|----------|---|
| ADF (表面) | 原稿の表面だけを読み取ります。 |
| ADF (裏面) | 原稿の裏面だけを読み取ります。 |
| ADF (両面) | 原稿の各ページの表裏両面を同時に読み取ります。この方法は両面読み取りをサポートしているスキャナでのみ利用可能です。 |

■ 原稿サイズ

読み取る原稿のサイズを指定します。リストの中から任意のサイズを選択します。

■ 用紙の向き

原稿の向き (縦か横) を指定します。

10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

2.1 電源を投入します

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります

2.3 原稿の読み取り方法

2.4 スキャナドライバの使い方

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録

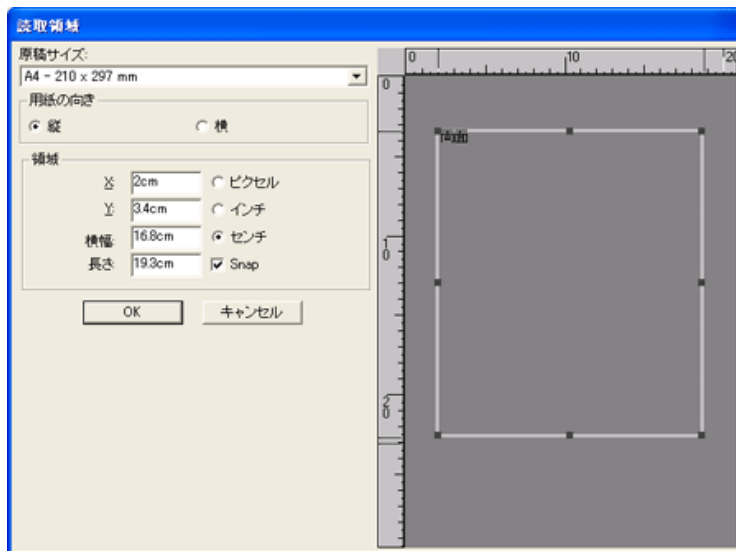


2.4 スキャナドライバの使い方(15)

◀ 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 ▶

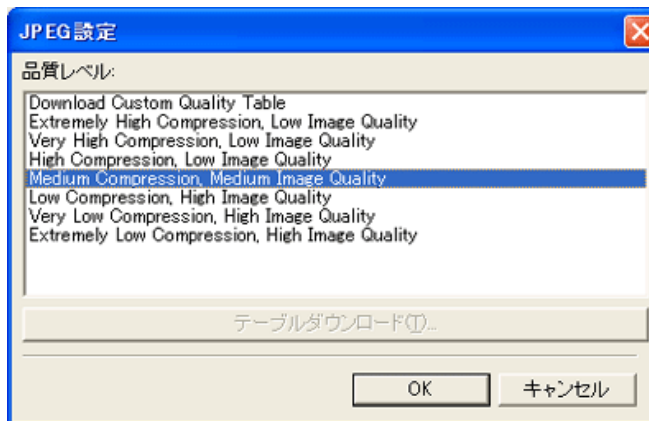
■ [領域...] ボタン

「読取領域」画面を表示します。原稿サイズに対する読み取り領域を指定します。領域枠をマウスでドラックして、大きさを調整することができます。また、数値を直接入力して指定することもできます。



■ [JPEG...] ボタン

[JPEG設定] ダイアログボックスを表示します。JPEG形式でデータを転送する際の圧縮率の設定をおこないます。



■ [バージョン情報] ボタン

バージョン情報を表示します。

◀ 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 ▶

目次



| |
|------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 2.1 電源を投入します |
| 2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります |
| 2.3 原稿の読み取り方法 |
| 2.4 スキャナドライバの使い方 |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |

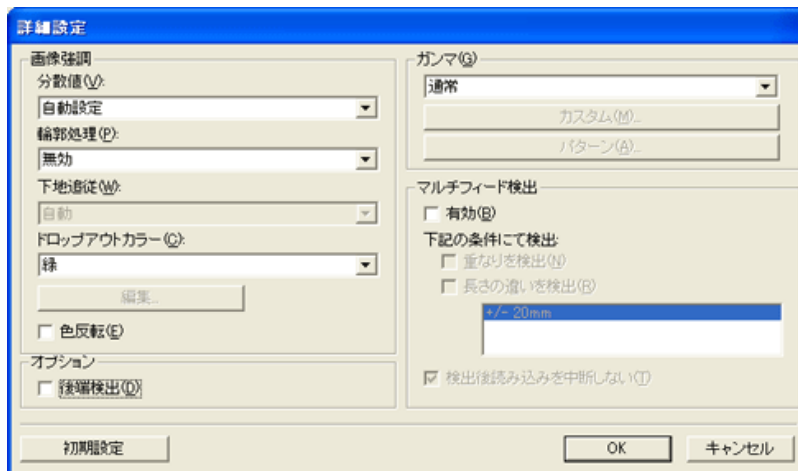


2.4 スキャナドライバの使い方(16)

◀ 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 ▶

■ [詳細...] ボタン

その他のオプション機能の設定に使用します。



分散値

画像の明るさに応じて分散値を設定します。

輪郭処理

読み取った画像のシャープさを指定します。

| | |
|--------|-------------------------------|
| 弱、中、強 | 輪郭を強調します。処理の度合いは、弱、中、強の3種類です。 |
| スムージング | 曲線部のギザギザを取り除き、輪郭を滑らかにします。 |

ドロップアウトカラー

指定した色（光の3原色：赤、青、緑および「なし」が選択可能）を読み取った画像から消します。たとえば原稿に緑色の枠で囲まれた黒い文字がある場合、文字だけを読み取って緑色の枠を消すように設定ができます。
「なし」を選択した場合は、ドロップアウトをおこないません。

色反転

読み取った画像の白と黒を反転します。

後端検出

読み取る原稿の後端を検出し、原稿長さ分の読み取りをおこないます。短いページが原稿に含まれる場合は、そのサイズにあわせて出力するイメージを調整します。

ガンマ

ガンマ補正の設定をおこないます。補正パターンには、通常、ソフト、ハード、ダウンロード、カスタムの5通りの設定が可能です。

マルチフィード検出

マルチフィードとは2枚以上の原稿が同時にADFに給紙された場合に発生するエラーです。マルチフィードの検出条件を設定して、検出時に読み取りを停止してエラーメッセージを表示させることが可能です。

◀ 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 ▶

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

- 3.1 両面を一度に読み取りたいとき
- 3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき
- 3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき
- 3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき
- 3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき
- 3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき
- 3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



第3章 いろいろな読み取り方法について

この章では、スキャナでいろいろな原稿を読み取る方法について説明します。

この章では、Windows XP の画面を例に説明しています。

ご使用のOSによって表示される画面、および操作が多少異なります。

また、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバ、およびFUJITSU ISIS スキャナドライバをアップデートすると、この章で記載している画面、および操作が多少異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供される取扱説明書を参照してください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



3.1 両面を一度に読み取りたいとき



両面を読み取る方法について説明します。

1. ADF給紙シュートに原稿をセットします。

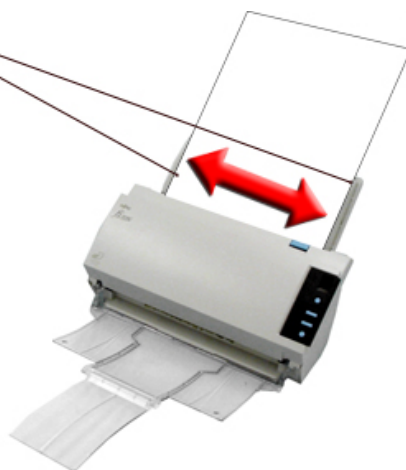
原稿をADF給紙シュートにセットする方法については、"[2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります](#)"を参照してください。



原稿の表面をADF給紙シュート側にします。

2. 原稿の幅に合わせてサイドガイドを移動します。

サイドガイド



目次



| |
|-------------------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 3.1 両面を一度に読み取りたいとき |
| 3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき |
| 3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき |
| 3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき |
| 3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき |
| 3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき |
| 3.7 マルチフィードを検出したいとき |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



3.1 両面を一度に読み取りたいとき(2)



3. ScandAll 21を起動します。

[スタート] メニューから [プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21] の順に選択します。

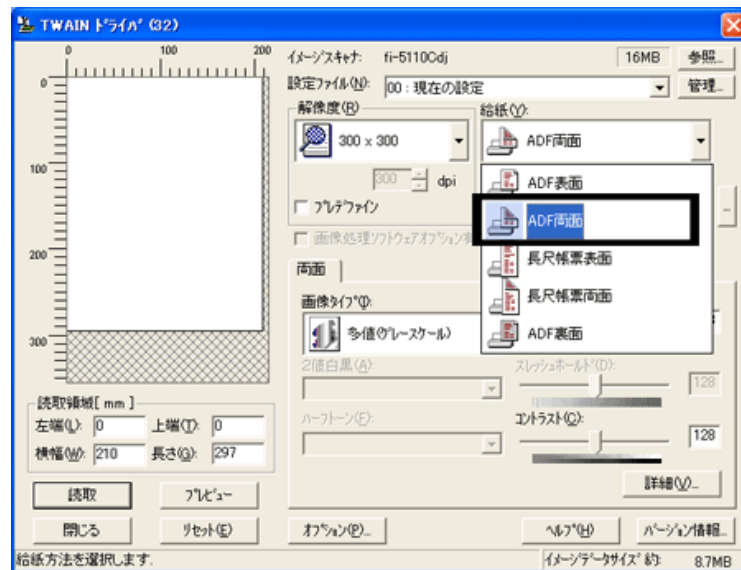
ScandAll 21 が起動されます。

4. [スキャン] メニューの [スキャナの選択] を選択します。

5. 「fi-5110Cdj」を選択して[選択]ボタンをクリックします。

6. ツールバーの [スキャン] - [画面へ表示] ボタンをクリックし、 [TWAINドライバ] ダイアログボックスを表示します。

7. [給紙] から [ADF両面] を選択します。



目次



| |
|-------------------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 3.1 両面を一度に読み取りたいとき |
| 3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき |
| 3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき |
| 3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき |
| 3.5 指定の色(ドロップアウトカラー)の部分を除いて読み取りたいとき |
| 3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき |
| 3.7 マルチフィードを検出したいとき |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |

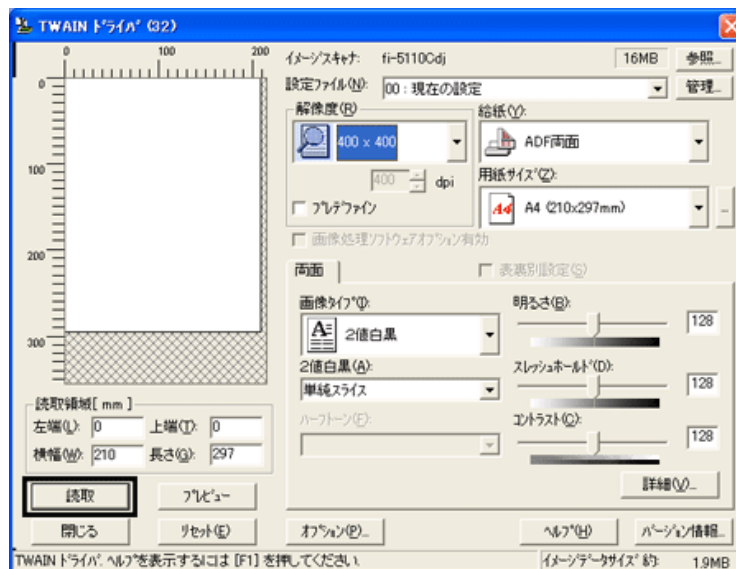


3.1 両面を一度に読み取りたいとき(3)



7. [読取] ボタンをクリックします。

[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定については、"[2.4 スキャナドライバの使い方](#)" を参照してください。



→ 原稿が読み取られ、ScandAll 21の画面にイメージが表示されます。ScandAll 21の機能・操作については [ScandAll 21ヘルプ] を参照してください。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を
除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

サイズの違う原稿をADFで一度にまとめて読み取ると、サイズの小さな原稿が傾いて読み取られる場合があります。

原稿の用紙の幅は必ず合わせて読み取りをおこなうようにしてください。

以下に、サイズの違う原稿を読み取る場合の手順を示します。

1. 原稿の幅が同じものに分類します。
2. サイドガイドを原稿の幅に合わせます。
3. 同じサイズごとに複数回に分けて読み取ります。

なお、ADFでの原稿の読み取り方法については、"[2.3 原稿の読み取り方法](#)"を参照してください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき



1. ADF給紙シュートに原稿をセットします。

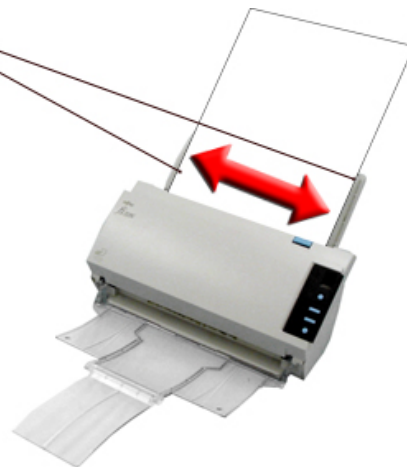
原稿をADF給紙シュートにセットする方法については、"[2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります](#)"を参照してください。



原稿の表面をADF給紙シュート側にします。

2. 原稿の幅に合わせてサイドガイドを移動します。

サイドガイド



目次



| |
|-------------------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 3.1 両面を一度に読み取りたいとき |
| 3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき |
| 3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき |
| 3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき |
| 3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき |
| 3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき |
| 3.7 マルチフィードを検出したいとき |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき(2)



3. ScandAll 21を起動します。

[スタート] メニューから [プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21] の順に選択します。ScandAll 21 が起動されます。

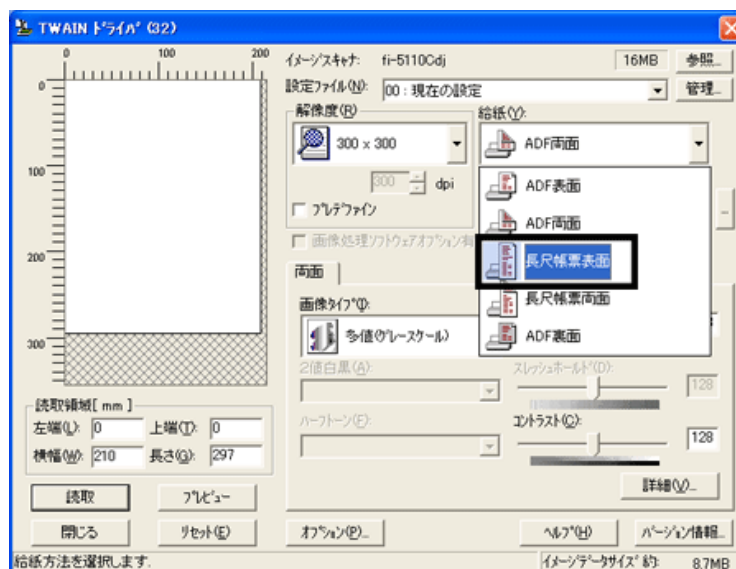
4. [スキャン] メニューの [スキャナを選択] を選択します。

5. 「fi-5110Cdj」を選択して[選択]ボタンをクリックします。

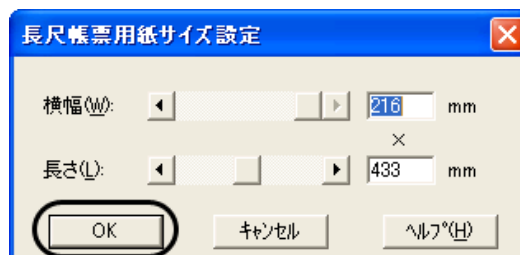
6. ツールバーの [スキャン] - [画面へ表示] ボタンをクリックし、 [TWAINドライバ] ダイアログボックスを表示します。

7. [給紙] から [長尺帳票表面] または [長尺帳票両面] を選択します。

➡ 長尺帳票用紙サイズ設定画面が表示されます。



8. 帳票のサイズを設定し、 [OK] をクリックします。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録

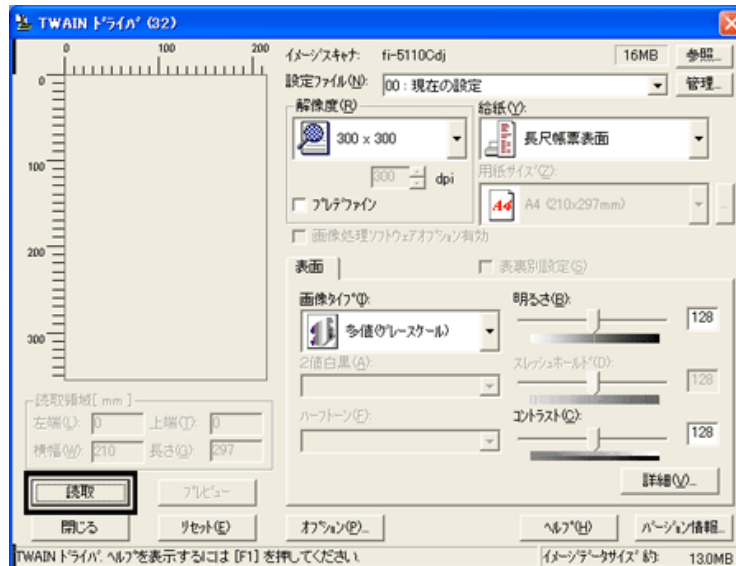


3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき(3)



8. [読取] ボタンをクリックします。

[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定については、"[2.4 スキャナドライバの使い方](#)"を参照してください。



→ 原稿が読み取られ、ScandAll 21の画面にイメージが表示されます。
ScandAll 21の機能・操作については [ScandAll 21ヘルプ] を参照してください。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき



読み取った画像をPDF形式で保存するときは、お使いのパソコンにAdobe Acrobat 7.0 Standardをインストールしてください。Adobe Acrobat 7.0 Standardは、付属のAdobe Acrobat 7.0 Standard CD-ROMからインストールできます。

PDFの作成は、以下の二通りの方法があります。

1. ScandAll 21からおこなう方法

カラーおよびグレースケールで読み取る場合にお勧めいたします。

- 通常の方法よりもPDFのデータサイズを小さくすることができます。
- 特別な操作を必要とせず、簡単にPDFを作成できます。

2. Adobe Acrobat 7.0 Standardからおこなう方法

PDFを短時間で作成したいとき、および2値白黒で読み取る場合にお勧めいたします。

- PDF（読み取った解像度のまま）を短時間で作成できます。
- PDFの圧縮率を変更することで、任意のデータサイズで作成できます。

カラー原稿の場合、通常の方法ではデータサイズが大きくなりますが、保存する前にAcrobat Distillerを使用することでデータサイズを大幅に小さくすることができます。詳しくは、「[読み取った画像をPDF形式で保存したいとき\(6\)](#)」のヒントの記載を参照してください。



注記

Adobe Acrobat 7.0 の使用上の注意点について

Acrobat 7.0 を使用してスキャナから紙原稿を読み取りPDFに変換する際に、意図しない画像が出力されることがあります。

1. Acrobat の輪郭除去オプションとTWAINドライバのデジタルエンダーサまたは黒背景オプションを設定した場合、画像に埋め込んだ文字列や背景部分が欠落することがあります。
解決方法 1: Acrobatの[ファイル]メニューから[PDFの作成] [スキャナ] [画像の設定...]を選択して、「輪郭除去」を"オフ"に設定、または「圧縮」の「カラー/グレースケール」、「白黒」を"アダプティブ"以外に設定する。
解決方法 2: TWAINドライバの読取濃度を調整する。
2. Acrobat の圧縮オプションの「カラー/グレースケール」、「白黒」を"アダプティブ"に設定して、Acrobatの推奨解像度より低い解像度で読み取る場合、適切でない画像が出力されることがあります。
解決方法: 「圧縮」の「カラー/グレースケール」、「白黒」を"アダプティブ"以外に設定する。
3. Acrobat はダブルレター（11×17）やA3より長い原稿は読み取れないため、TWAINドライバでオーバースキャンを設定した場合、正しく読み取れないことがあります。
解決方法: ダブルレター（11×17）やA3の原稿を読み取る場合は、オーバースキャンを設定しない。

*Acrobat の使い方や詳細な情報については、Acrobatヘルプ（紙の文書からのPDFの作成）やwww.adobe.co.jp/supportの「サポートデータベース」を参照してください。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(2)



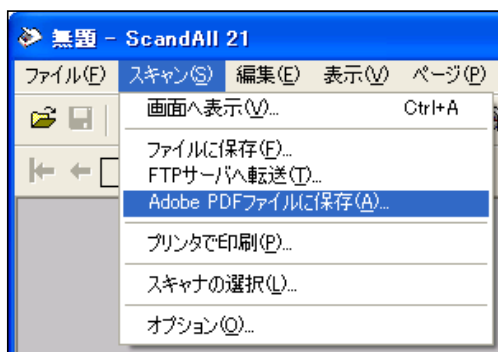
■ ScandAll 21からおこなう方法

1. スキャナのADF給紙シュートに、原稿をセットします。

2. ScandAll 21 を起動します。

[スタート] メニューから、[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21] の順に選択します。
ScandAll 21が起動します。

3. [スキャン]メニューの[Adobe PDFファイルに保存...]を選択します。



→ [TWAINドライバ] ダイアログボックスが表示されます。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

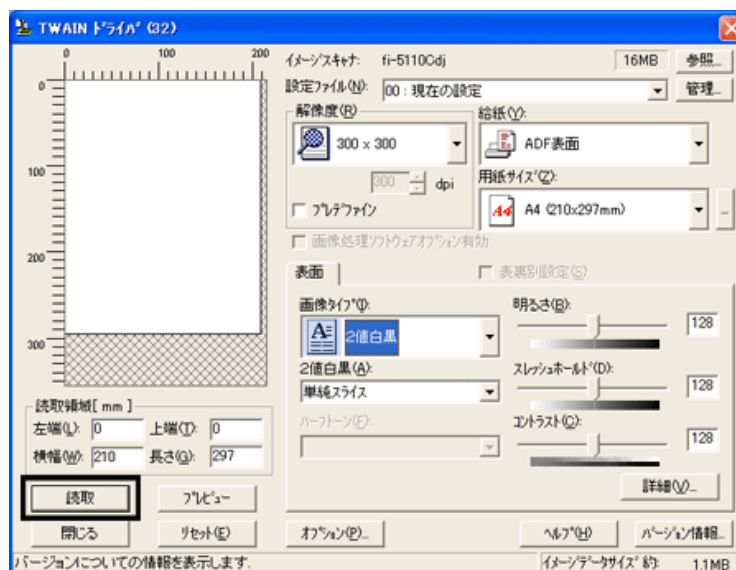
付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(3)



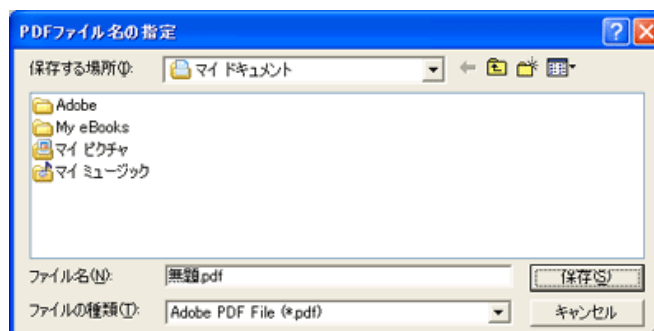
4. 読み取り解像度や原稿サイズなどを設定して、[読取] ボタンをクリックします。



5. 読み取りを終了するときには、[閉じる] ボタンをクリックします。

6. ファイル名と保存先を指定して、読み取ったデータを保存します。

詳細は、ScandAll 21 のヘルプを参照してください。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(4)



■ Adobe Acrobat 7.0 Standardからおこなう方法



注記

Adobe Acrobat 7.0使用時の注意事項

解像度、給紙方法、画像タイプは、アプリケーションからの指定が有効になるため、読み取り時に前回指定の設定項目で表示されません。

以下の機能は、ご使用できません：

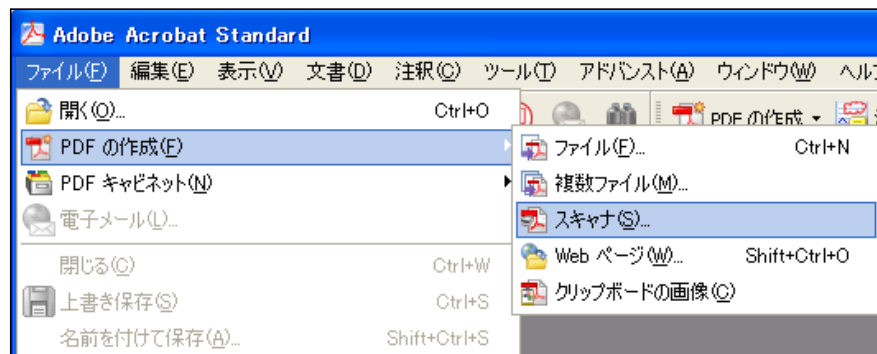
- 256色カラーおよび8色カラー
- 後端検出指定時の回転角度指定
- 長尺帳票での読み取り

1. ADF給紙シュートに原稿をセットします。

2. Adobe Acrobat 7.0 Standardを起動します。

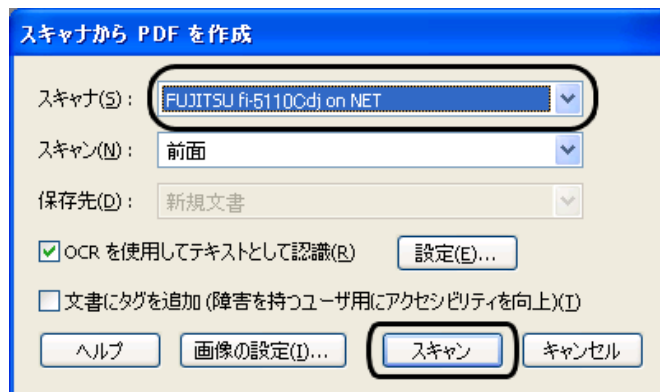
[スタート]メニューから、[プログラム] - [Adobe Acrobat 7.0]の順に選択します。Adobe Acrobat 7.0 Standardが起動します。

3. [ファイル]メニューから、[PDFの作成] - [スキャナ]の順に選択します。



➡ [スキャナからPDFを作成] ダイアログボックスが表示されます。

4. [デバイス]に、[FUJITSU fi-5110Cdj]を指定して、[スキャン]ボタンをクリックします。



➡ [TWAINドライバ] ダイアログボックスが表示されます。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

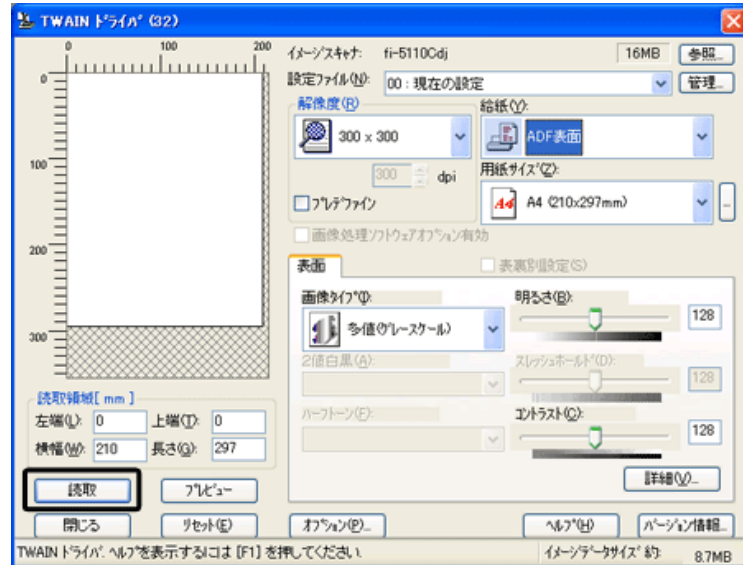
付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(5)



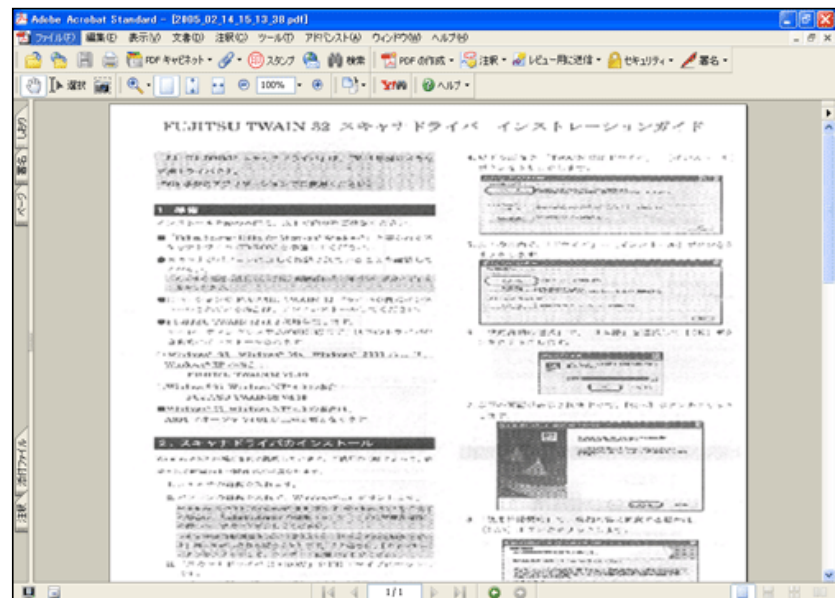
5. 読み取り解像度、原稿サイズなどを設定して、[読取]ボタンをクリックします。



6. 読み取りを終了するとき、[完了]ボタンをクリックします。



→ 読み取った画像が表示されます。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(6)



7. [ファイル]メニューから、[名前を付けて保存]もしくは[上書き保存]を選択して読み取ったデータを保存します。



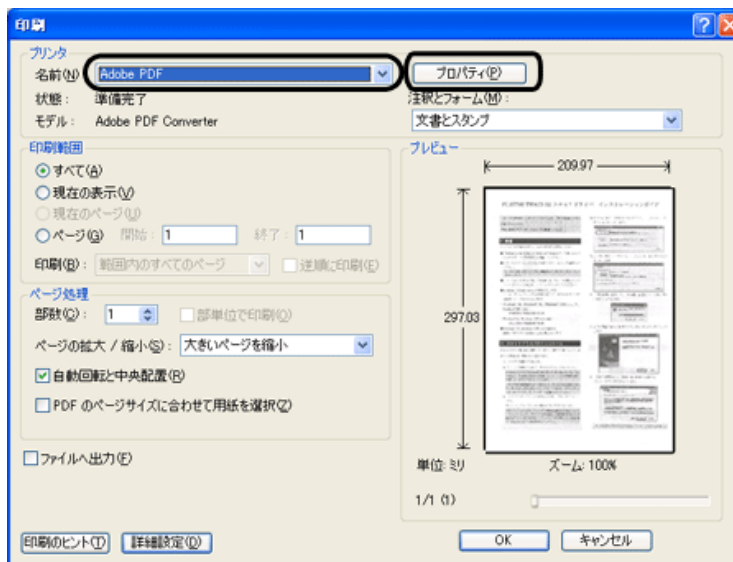
Adobe Acrobat 7.0の操作については、Adobe Acrobat 7.0のヘルプを参照してください。



ヒント

上記の方法で画像を保存すると、データサイズが非常に大きくなる場合があります。データサイズを小さくしたい場合は、下記の方法で保存してください。（ただし、保存の際に通常よりも時間がかかります。）

1. [ファイル] - [印刷...]を選択します。
2. 以下の画面が表示されますので、[プリンタ名]に「Adobe PDF」を指定します。



3. [プロパティ]をクリックします。
4. [Adobe PDF 設定]タブをクリックします。



目次



| |
|-------------------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 3.1 両面を一度に読み取りたいとき |
| 3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき |
| 3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき |
| 3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき |
| 3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき |
| 3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき |
| 3.7 マルチフィードを検出したいとき |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |

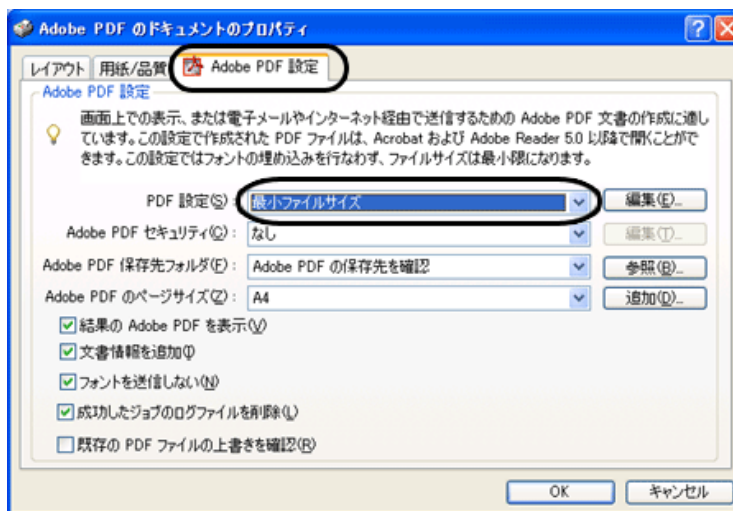


3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(7)



ヒント（前ページより続き）

5. ジョブオプションを選択します。
ここでは、一例として「最小ファイルサイズ」を選択します。



6. [OK] ボタンをクリックします。
7. [PDFファイルの保存] 画面が表示されます。
任意のファイル名を指定し、[保存] ボタンを押して保存します。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色 (ドロップアウトカラー) の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

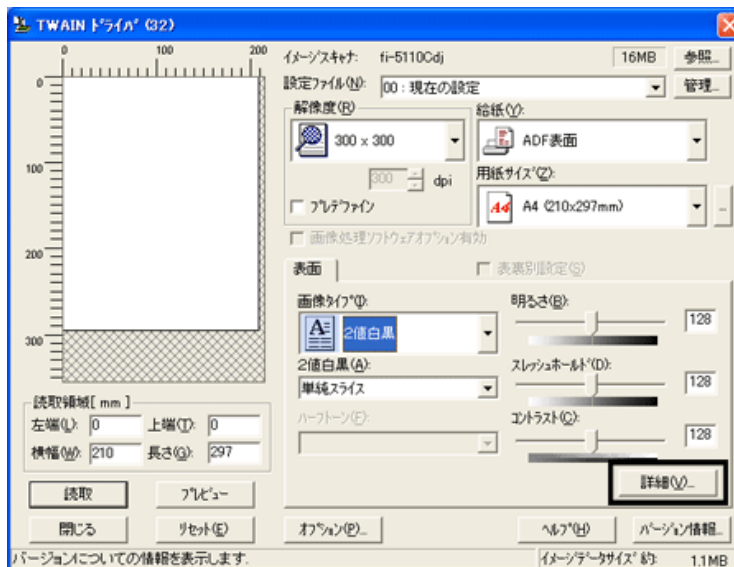
付録



3.5 指定の色 (ドロップアウトカラー) の部分を除いて読み取りたいとき

緑、赤、青 (光の三原色) の中から、選択した色の部分を除いて読み取ることができます。たとえば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取ることができます。ドロップアウトカラーを設定するときは、[TWAINドライバ]ダイアログボックスの設定を変更します。

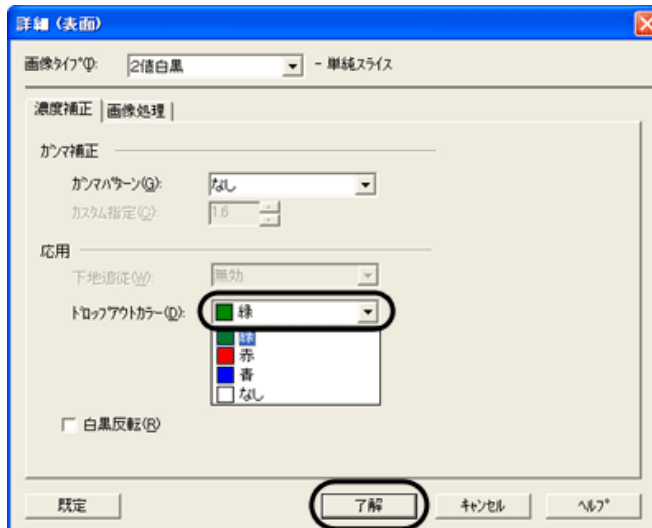
1. [TWAINドライバ]ダイアログボックスの[詳細]ボタンをクリックします。



→ [詳細]ダイアログボックスが表示されます。

2. 「応用」の「ドロップアウトカラー」から、除きたい色を指定します。

たとえば、緑色の枠の中に黒い文字が書かれた原稿を読み取る場合で、黒い文字の部分だけを読み取るときは、[緑]を指定します。「なし」を選択した場合は、ドロップアウトをおこないません。



3. [了解]ボタンをクリックします。

[TWAINドライバ]ダイアログボックスに戻ります。
続けて、読み取り操作してください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録

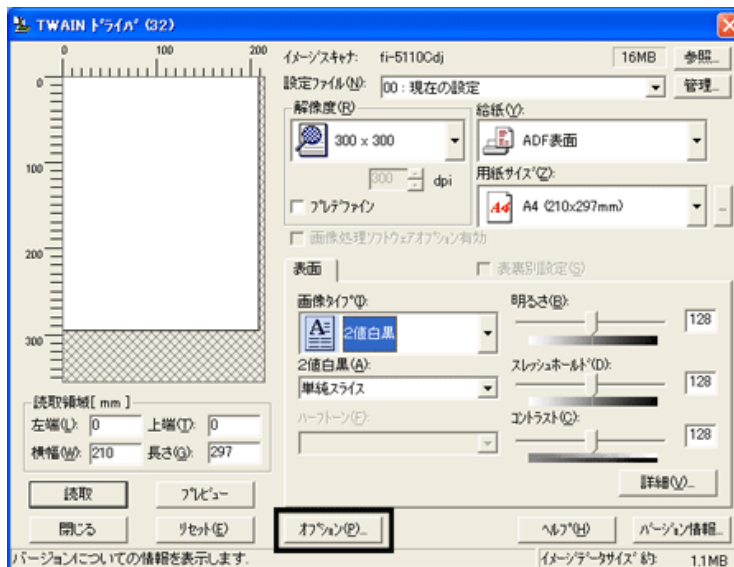


3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき



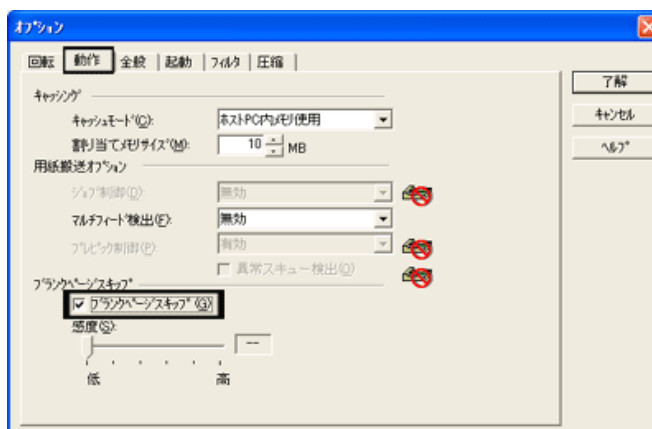
空白ページを除くときは、[TWAIN ドライバ]ダイアログボックスの設定を変更して読み取ります。

1. [TWAIN ドライバ]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックします。



→ [オプション]ダイアログボックスが表示されます。

2. [動作] タブをクリックします。



3. 「blankページスキップ」チェックボックスをチェックします。

本機能を有効にすると、キャッシュ設定が「host PC内メモリ使用」、「両メモリ使用」以外の設定の場合、自動的に「host PC内メモリ使用」に切り替わります。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき(2)



4. スライダーバーを使って、ブランクページスキップの度合を調整します。

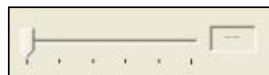
2値白黒、ハーフトーン設定の場合



白紙の場合は [白背景原稿]、黒紙の場合は [黒背景原稿] のスライダーにてスキップ条件の設定をおこないます。スライダー右に表示される数値はゴミ分布率(*1)を表し、読み取った原稿がこの数値以下の場合にブランクページと認識します。設定範囲は、OFF(--),および0.2~3.0%(0.2刻み)になります。

*1: 読取領域に対する黒点の占める割合 (白紙の場合)

カラー、グレースケール設定の場合



1~5の5段階で、ブランクページ（白紙）のスキップ条件を設定します。値が大きくなるほどスキップしやすくなります。



目次



| |
|-------------------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 3.1 両面を一度に読み取りたいとき |
| 3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき |
| 3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき |
| 3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき |
| 3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき |
| 3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき |
| 3.7 マルチフィードを検出したいとき |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



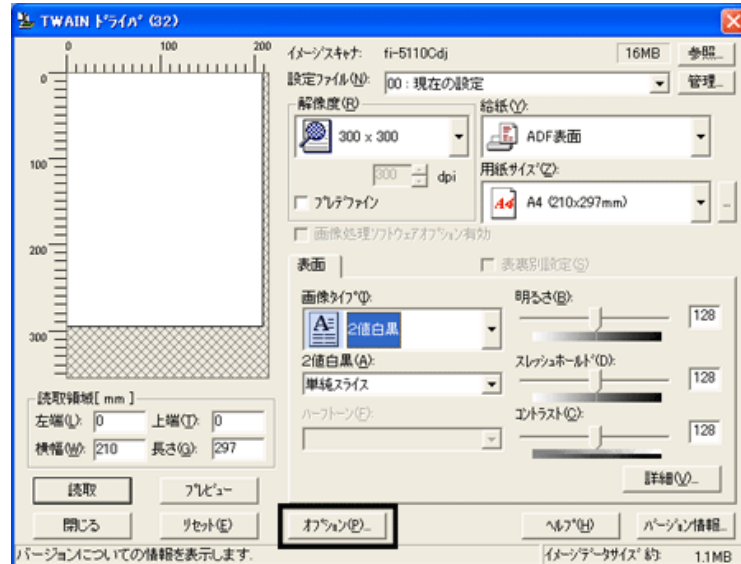
3.7 マルチフィードを検出したいとき



マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADF給紙シュートに送り込まれてしまう現象のことです。

マルチフィードを検出し、エラーメッセージを表示するように設定することができます。マルチフィードの設定は、[TWAINドライバ]ダイアログボックスからおこないます。

1. [TWAINドライバ]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックします。



2. [動作]タブをクリックします。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

3.1 両面を一度に読み取りたいとき

3.2 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

3.3 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき

3.5 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

3.6 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

3.7 マルチフィードを検出したいとき

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

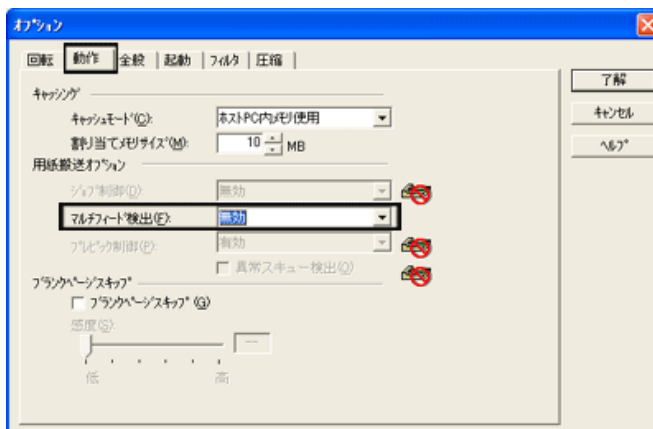
付録



3.7 マルチフィードを検出したいとき(2)



3. 「用紙搬送オプション」の「マルチフィード検出」から、検出条件を指定します。



次の検出条件があります。

| | |
|-------------|--|
| 無効 | マルチフィード検出をおこないません。 |
| 厚さの違いを検出 | 原稿の厚さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの厚さの変化によってマルチフィード検出をおこないます。 |
| 長さの違いを検出 | 原稿の長さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの原稿の長さの変化によってマルチフィード検出をおこないます。 |
| 長さとはさの違いを検出 | 厚さと長さの両方を監視し、マルチフィード検出をおこないます。 |

なお、マルチフィード検出の詳細については、「[7.5 マルチフィードの検出条件](#)」を参照してください。

4. [了解]ボタンをクリックします。

[TWAINドライバ]ダイアログボックスに戻ります。続けて、読み取り操作してください。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

4.1 清掃用品

4.2 スキャナ外部の清掃

4.3 スキャナ内部の清掃

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



第4章 日常のお手入れ

この章では、スキャナの清掃方法について説明します。



注意



装置使用時はADF内部のガラスは高温になります。
内部の清掃をおこなうときは、電源を切断し、ACアダプターをコンセントから抜いてから、15分以上待っておこなってください。
フィードローラと排出ローラの清掃をするときは、電源を投入した状態でおこないます。

目次




| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 4.1 清掃用品 |
| 4.2 スキャナ外部の清掃 |
| 4.3 スキャナ内部の清掃 |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



4.1 清掃用品

以下の表はこのスキャナで使用される清掃用品を示しています。

| 清掃用品 | 商品番号 | 備考 |
|--|---------|---------------------------------|
| クリーナF1 (またはイソプロピルアルコール)  | 0631150 | 1ボトル (100 ml) 布にしみこませて清掃します。 |
| 乾いた布 | 市販のもの | |

クリーナF1のご購入については、スキャナをご購入された販売会社、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社
TEL: 03-3342-5375

<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

4.1 清掃用品

4.2 スキャナ外部の清掃

4.3 スキャナ内部の清掃

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



4.2 スキャナ外部の清掃

スキャナ外部,ADF給紙シュートおよびスタッカは、乾いた布や、少量のクリーナF1（イソプロピルアルコール）または中性洗剤を浸した布で清掃します。



注記

シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。
 清掃中に、内部に水分が入らないように注意してください。
 エアスプレーは、使用しないでください。
 ホコリなどが装置内に浸入して、故障や装置異常の原因になる場合があります。

目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 4.1 清掃用品 |
| 4.2 スキャナ外部の清掃 |
| 4.3 スキャナ内部の清掃 |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



4.3 スキャナ内部の清掃



スキャナ内部の清掃は、目安として1000枚読み取りごとにおこなってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。たとえば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

スキャナ内部の清掃は、以下の要領で実施してください。



注意

装置使用時は、ADF内部のガラスが高温になります。内部の清掃をおこなう場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、15分以上待ってから清掃をおこなってください。



注記

装置内部を清掃する際は、水や中性洗剤を使用しないでください。エアスプレーは、使用しないでください。ホコリなどが装置内に浸入して、故障や装置異常の原因になる場合があります。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

4.1 清掃用品

4.2 スキャナ外部の清掃

4.3 スキャナ内部の清掃

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



4.3 スキャナ内部の清掃(2)

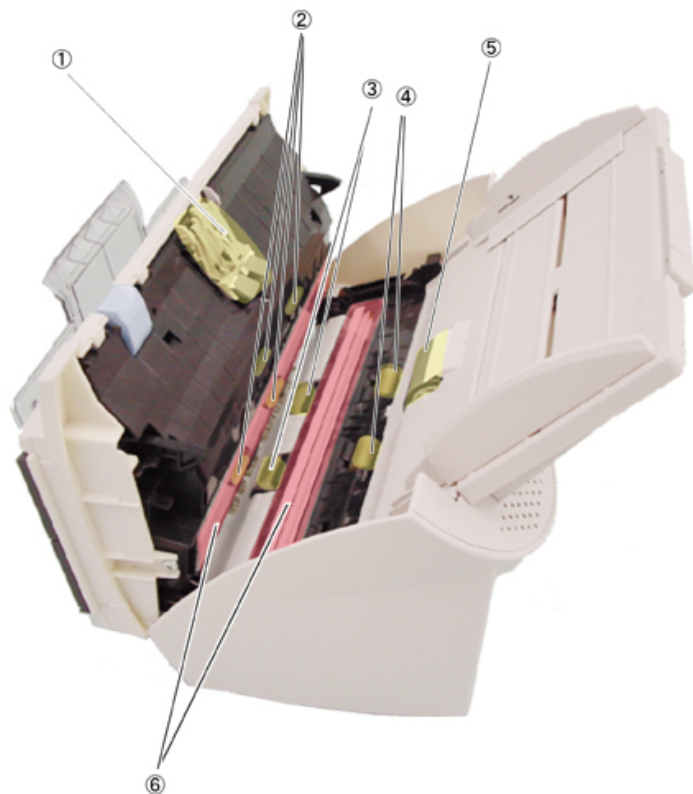


1. ADFオープンレバーを手前に引いて、ADFを開きます。

**注意**

ADFが閉まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。

2. 乾いた布に、少量のクリーナーF1を浸して、以下の箇所を清掃します。



| No. | 名称 |
|-----|-------------------|
| 1 | パッドユニット |
| 2 | プラスチックローラ (4 個) |
| 3 | 排出ローラ (2 個) |
| 4 | フィードローラ (2 個) |
| 5 | ピックローラ (1 個) |
| 6 | ガラス (2 箇所) |



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

4.1 清掃用品

4.2 スキャナ外部の清掃

4.3 スキャナ内部の清掃

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



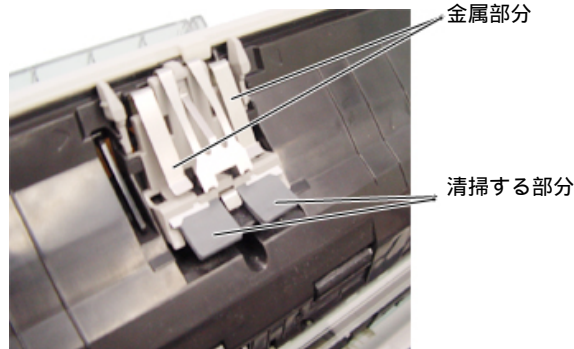
4.3 スキャナ内部の清掃(3)



■ 以下の箇所は、電源を切断して清掃します。


パッドユニット (1箇所)

ゴム製のパッド表面に付着した汚れやホコリを、上から下に向かって清掃します。金属部分に、手や布が引っかからないように注意してください。



ガラス (ADF側、本体側の2箇所)

ガラス表面に付着した汚れやホコリを、軽くふき取ります。



ヒント

ガラスが汚れていると、読み取った画像に黒い縦線が出る場合があります。

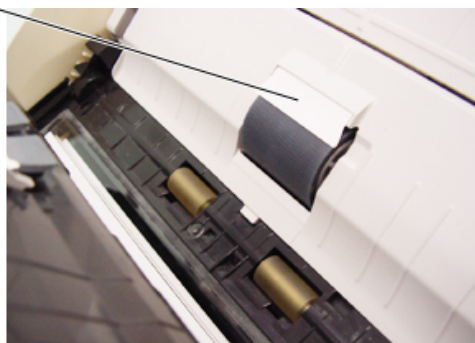
プラスチックローラ

指で少しずつ回転させながら、汚れやホコリを軽くふき取ります。ローラの表面をいためないように注意してください。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出ますので、清掃を十分おこなってください。

ピックローラ (1箇所)

指で上から下に向かって回転させながら、汚れやホコリを軽くふき取ります。ローラの表面をいためないように注意してください。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響がでますので、清掃を十分おこなってください。また、マイラー片を傷つけないように注意してください。

マイラー片



パッドユニット、ガラス、プラスチックローラおよびピックローラの清掃手順を以下の動画で確認できます。



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 4.1 清掃用品 |
| 4.2 スキャナ外部の清掃 |
| 4.3 スキャナ内部の清掃 |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



4.3 スキャナ内部の清掃(4)



以下の箇所は、電源を入れて回転させながら清掃します。

フィードローラ (2箇所)

ローラの表面を傷めないように、汚れやホコリを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出ますので、清掃を十分おこなってください。

排出ローラ (2箇所)

ローラの表面を傷めないように、汚れやホコリを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出ますので、清掃を十分おこなってください。

1. 電源を入れた状態で、操作パネルの表示が「P」または「0」以外の表示のときにADFを開いてください。

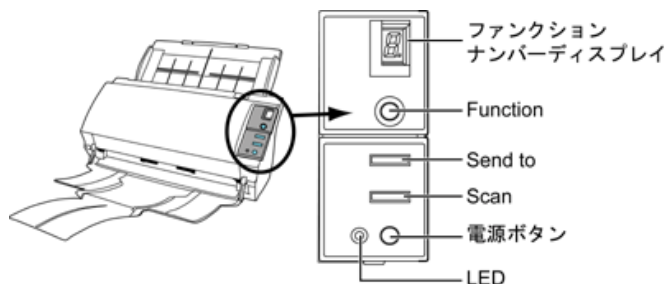
なお、「P」や「0」の表示状態でADFのカバーを開き、操作2)をおこなってもフィード/排出ローラが回転しません。

2. 操作パネルの「Send to」ボタンと「Scan」ボタンを同時に押すと、一定量フィード/排出ローラが回転します。

なお、「Send to」ボタンと「Scan」ボタンの位置については、下の図を参照ください。

3. クリーナF1を浸した布をローラ表面に押し当て、ローラを回転させながらローラの表面を軽く清掃します。

なお、目安として、「Send to」ボタンと「Scan」ボタンを同時に6回押すと、フィード/排出ローラが1回転します。



注意

手順2.で排出ローラを回転させると、フィードローラも同時に回転します。排出ローラを清掃する場合、フィードローラに手が触れやすいので、ご注意ください。



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 4.1 清掃用品 |
| 4.2 スキャナ外部の清掃 |
| 4.3 スキャナ内部の清掃 |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



4.3 スキャナ内部の清掃(5)



フィードローラおよび排出ローラの清掃手順を以下の動画で確認できます。



3. ADFを閉じます。

→ カチンという音がします。

**注意**

元の位置に戻したときに、ADFが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 パッドユニットを交換します

5.3 ピックローラを交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



第5章 消耗品を交換します

この章では、スキャナの消耗品の交換について説明します。

この章では、Windows XP の画面を例に説明しています。

お使いのOSによって、表示される画面および操作が多少異なります。

また、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバ、およびFUJITSU ISIS スキャナドライバをアップデートすると、この章で記載している画面、および操作が多少異なることがあります。

その場合は、アップデート時に提供される取扱説明書を参照してください。



注意



装置使用時はADF内部のガラスは高温になります。

消耗品の交換をおこなうときは、電源を切断し、ACアダプターをコンセントから抜いてから、15分以上待っておこなってください。

目次



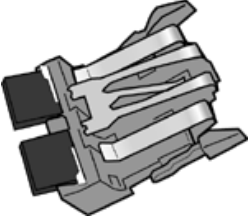

| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 5.1 消耗品の番号と交換周期 |
| 5.2 パッドユニットを交換します |
| 5.3 ピックローラを交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



5.1 消耗品の番号と交換周期



以下に、消耗品の型名と交換周期の目安を示します。

| 品名 | 商品番号 | 交換周期 (目安) |
|--|---------|-------------|
| パッドユニット (PAD ASSY)  | 0637840 | 5万枚または1年ごと |
| ピックローラ  | 0637830 | 10万枚または1年ごと |

交換周期は、A4原稿(64 g/m²)の上質紙、または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。



注記

当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品のご購入については、富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社
TEL: 03-3342-5375

<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 5.1 消耗品の番号と交換周期 |
| 5.2 パッドユニットを交換します |
| 5.3 ピックローラを交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



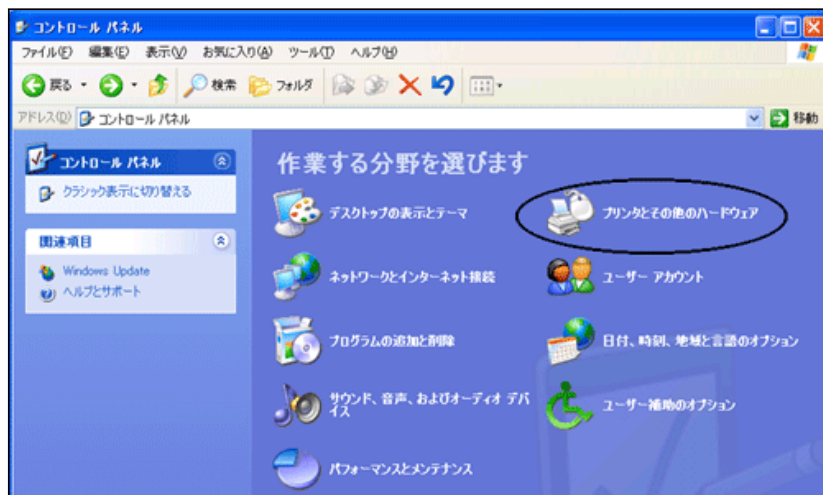
5.1 消耗品の番号と交換周期(2)



■ 消耗品の交換の目安

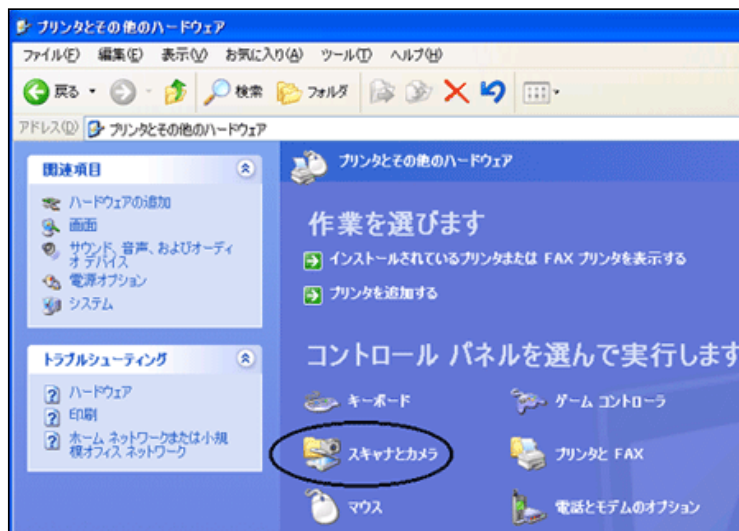
本装置では、消耗品の交換の目安、および使用回数を知ることができます。

1. スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
スキャナとパソコンの接続については、「fi-5110C スタートアップガイド 2.1 スキャナを設置します」を参照してください。
2. ホストコンピュータのコントロールパネル内にある「プリンタとその他のハードウェア」のアイコンをダブルクリックします。



→ [プリンタとその他のハードウェア]の画面が表示されます。

3. [プリンタとその他のハードウェア]の画面で、「スキャナとカメラ」のアイコンをダブルクリックします。



→ [スキャナとカメラ]の画面が表示されます。



目次



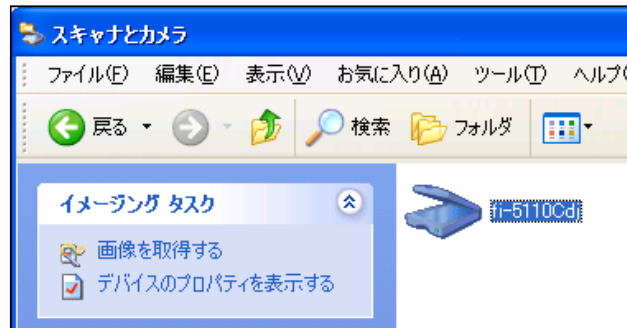
| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 5.1 消耗品の番号と交換周期 |
| 5.2 パッドユニットを交換します |
| 5.3 ピックローラを交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



5.1 消耗品の番号と交換周期(3)



4. 「fi-5110Cdj」のアイコンを右クリックしてプロパティを選択（Windows Me, Windows XPの場合）、あるいはダブルクリック（Windows 98, Windows 2000の場合）します。



→ [fi-5110Cのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 パッドユニットを交換します

5.3 ピックローラを交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

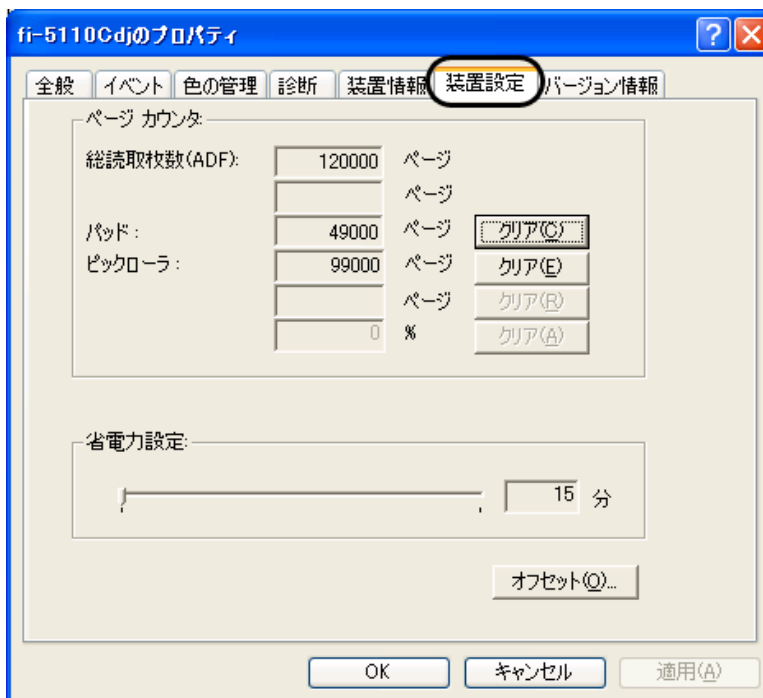
付録



5.1 消耗品の番号と交換周期(4)



5. 「装置設定」タブをクリックします。
 → 以下の画面が表示されます。



この画面で、以下のことが確認できます。

- 総読み取り枚数
- パッドカウンタ（パッドユニットを交換してから読み取った、原稿の概算枚数）
- ピックローラカウンタ（ピックローラを交換してから読み取った、原稿の概算枚数）



目次



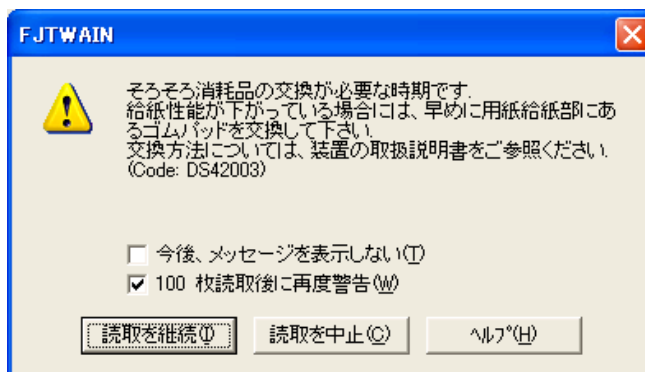
| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 5.1 消耗品の番号と交換周期 |
| 5.2 パッドユニットを交換します |
| 5.3 ピックローラを交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



5.1 消耗品の番号と交換周期(5)



なお、スキャナを使用していると、以下のようなメッセージが表示されることがあります。



このメッセージが表示されたら、消耗品を交換してください。

[読取を継続]ボタンを押すと、このメッセージが消え読み取りが続けられます。なるべく早い内にメッセージに表示された消耗品を交換してください。通常(デフォルト設定)の場合100枚読取後に再度このメッセージが表れます。このメッセージを次の消耗品交換まで表示したくない場合は [今後、メッセージを表示しない] をチェックします。読取を中止して消耗品を交換する場合は、[読取を中止] ボタンを押します。

消耗品の交換は以下を参照してください。

パッドユニット: 「[5.2 パッドユニットを交換します](#)」

ピックローラ: 「[5.3 ピックローラを交換します](#)」



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 パッドユニットを交換します

5.3 ピックローラを交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



5.2 パッドユニットを交換します



1. ADF給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. ADFオープンレバーを手前に引いて、ADFを開きます。



注意

ADFが閉まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。

3. パッドユニットをスキャナから取り外します。
パッドユニットの両端のツマミを押して、上にずらしながら手前に引きます。
4. 新しいパッドユニットを取り付けます。
パッドユニットの両端を持ち、元の位置に取り付けます。
このとき、金属部分に手を引っ掛けないように注意してください。



注記

パッドユニットが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

5. ADFを閉じます。
→ カチンという音がします。
以下の動画で手順を確認できます。



目次



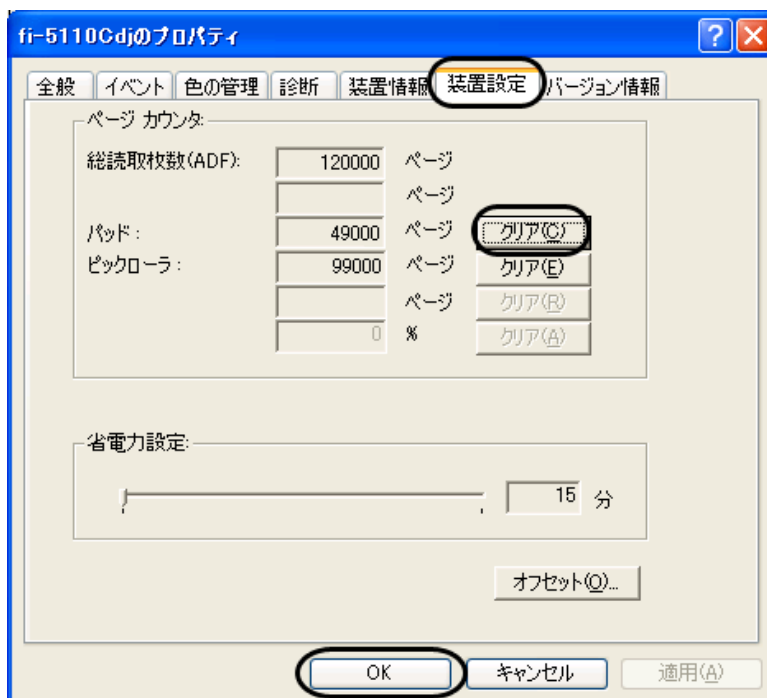
| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 5.1 消耗品の番号と交換周期 |
| 5.2 パッドユニットを交換します |
| 5.3 ピックローラを交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



5.2 パッドユニットを交換します(2)

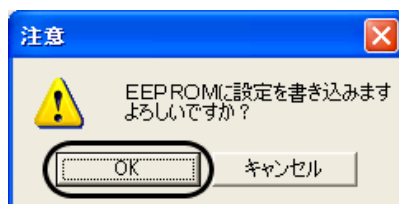


6. パッドカウンタをリセットします。
- ① スキャナとパソコンが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
 - ② ホストコンピュータのコントロールパネル内より、[スキャナとカメラ] を選択します。
[fi-5110Cdj] のプロパティを開きます。
 - ③ [fi-5110Cdj のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
 - ④ 「装置設定」タブをクリックします。
 - ⑤
- 以下の画面が表示されます。



- ⑥ 「ページカウンタ」内の"パッド"の横の[クリア]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



[OK]ボタンをクリックします。
これでパッドカウンタが0に戻ります。



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 5.1 消耗品の番号と交換周期 |
| 5.2 パッドユニットを交換します |
| 5.3 ピックローラを交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



5.3 ピックローラを交換します



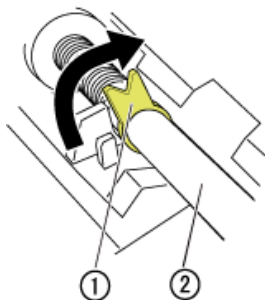
1. ADF給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. ADF給紙シュートを取り外します。
3. ADFオープンレバーを手前に引いて、ADFを開きます。



注意

ADFが閉まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。

4. シートガイドを取り外します。
両端の取っ手をつまみ、ツメを内側に押しながら、持ち上げてはずします。
5. ピックローラ軸受け（左側）を回転させます。



① : 軸受け

② : ピックローラ軸

6. ピックローラを、軸ごとはずします。
軸の左側を持ち、左側にずらしながら、上に持ち上げて取り外します。



注意

ピックローラ軸受けは堅いため、指の爪でピック軸受けを回転させることはおやめください。指でうまく回転させることができない場合は、クリップなどを使って回転させてください。



注記

ピックローラの周辺が紙粉で汚れている場合があります。そのまま放置すると、読み取り不良の原因となりますので、乾いた布に少量のクリーナーF1を浸して、紙粉をふき取ってください。水や中性洗剤、エアスプレーは使用しないでください。

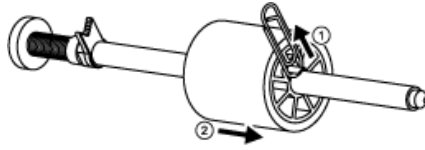
7. ピックローラを、軸からはずします。

ピックローラのツメを持ち上げながら、ピックローラを軸から取り外します。



注意

指の爪を使って持ち上げると、指の爪が傷ついたり、欠けたりする可能性があります。指でうまく持ち上げられない場合は、クリップなどを使ってピックローラのツメを持ち上げてください。



All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED, 2006

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 パッドユニットを交換します

5.3 ピックローラを交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録

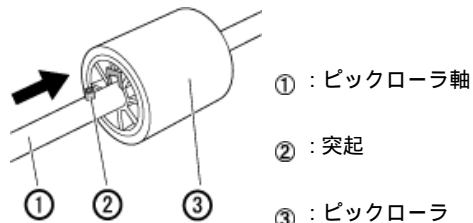


5.3 ピックローラを交換します(2)



8. 新しいピックローラを、軸に取り付けます。

軸の突起部分をピックローラの溝にはめ込みます。



注記

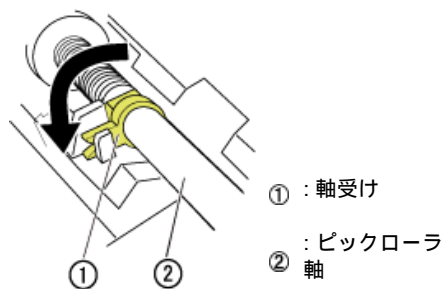
ピックローラが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

なお、ピックローラは取り付けるとき、「カチッ」という音が鳴ります。音が鳴るように取り付けてください。

9. ピックローラをスキャナに取り付けます。

まず、右側の軸受けに、斜め上方からピックローラ軸の先端をはめ、軸をねかせながら、徐々にめ込みます。

10. ピックローラ軸受け(左側)を固定します。



注記

ピックローラユニットが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりや給紙エラーなどを引き起こす原因となります。

11. シートガイドを取り付けます。

両端の取っ手をつまんで、シートガイドを元の位置に取り付けます。「パチン」と音がして、ツメが外側に開きます。



注記

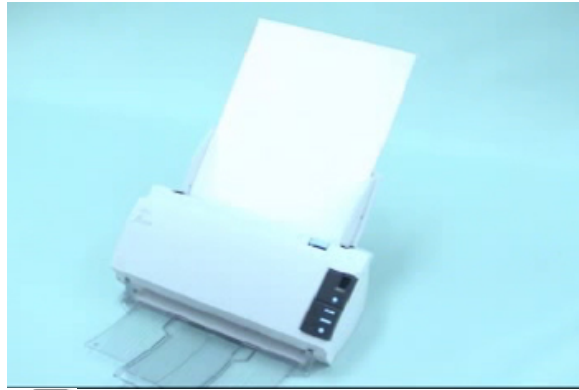
シートガイドがしっかり固定されていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりや給紙エラーなどを引き起こす原因となります。

12. ADFを閉じます。

→ カチンという音がします。

13. ADF給紙シュートを取り付けます。

以下の動画で手順を確認できます。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

5.1 消耗品の番号と交換周期

5.2 パッドユニットを交換します

5.3 ピックローラを交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



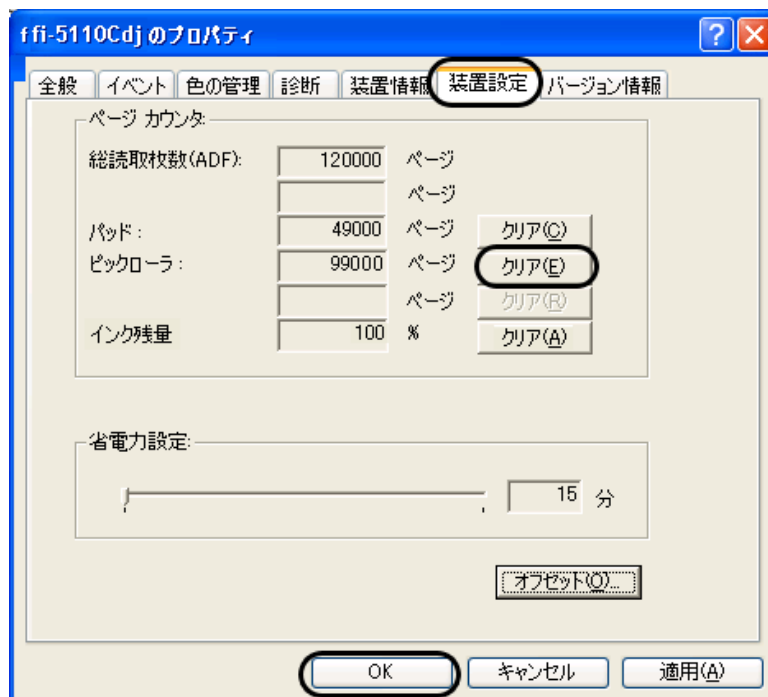
5.3 ピックローラを交換します(3)



14. ピックカウンタをリセットします。

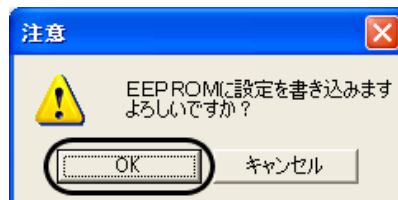
- ① スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
- ② ホストコンピュータのコントロールパネル内より [スキャナとカメラ] を選択します。
[fi-5110Cdj] のプロパティを開きます。
- ③ [fi-5110Cdj のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- ④ 「装置設定」タブをクリックします。
- ⑤ 「装置設定」タブをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



- ⑥ 「ページカウンタ」内の"ピックアップ"の横の[クリア]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



[OK]ボタンをクリックします。
これでピックアップが0に戻ります。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



第6章 困ったときには

この章では、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。



注記

記載されている内容以外のトラブル、およびエラーの詳細については、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバのヘルプを参照してください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



6.1 原稿づまりが発生したときは



原稿が詰まった場合は、以下の要領で原稿を取り除いてください。



注意

つまった原稿を取り除くときは、ケガをしないように注意してください。
つまった原稿を取り除くときは、ネクタイやネックレスなどがスキャナ内部に巻き込まれないように注意してください。
ガラスが高温になっている場合があります。やけどをしないように注意してください。

1. ADF給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
2. ADFオープンレバーを手前に引いて、ADFを開きます。



注意

ADFが閉まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。

3. つまっている原稿を取り除きます。



注記

ステープラーの針やクリップなどは原稿づまりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
また、読み取りをおこなう前に、ステープラーの針やクリップなどは必ず原稿から取り外してください。
つまった原稿を取り外すときに、金属部分を引っ張らないように注意してください。

4. ADFを閉じます。

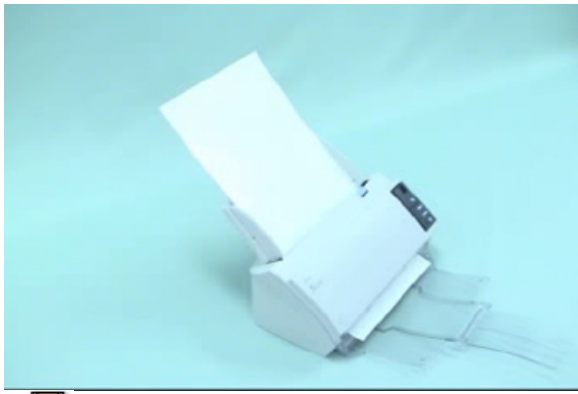


注記

ADFが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。
読み取り終了時もしくは読み取りをキャンセルしたとき、エラーメッセージが表示されずに原稿がADFの内部に残る場合があります。原稿がADF内部に残った場合は、以下手順にしたがって取り除いて下さい。

1. ADF給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
2. ADFオープンレバーを手前に引いて、ADFを開きます。
3. 残っている原稿を取り除きます。
4. ADFを閉じます。

手順を動画で確認できます。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録

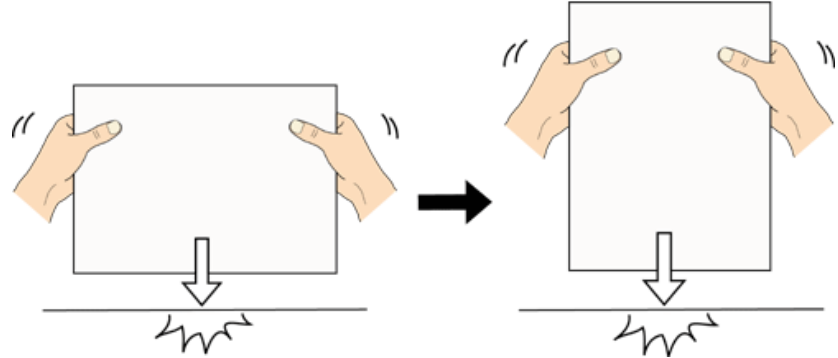


6.1 原稿づまりが発生したときは(2)

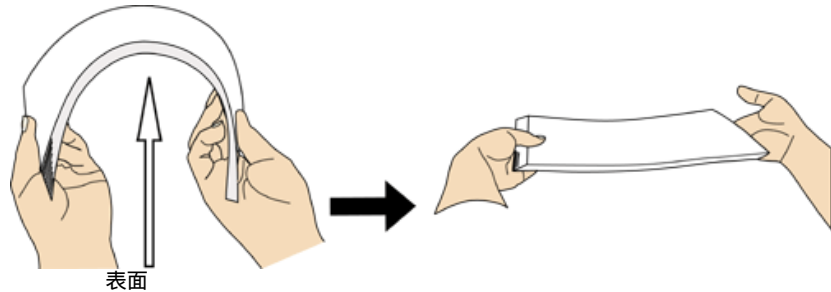


原稿づまりやマルチフィードが多発する場合は、以下の手順で原稿をセットしてください。

1. 原稿の先端をそろえます。



2. 原稿の先端と後端部分をつかみ、図のように湾曲させて後端部分を離します。



3. 図のように原稿の先端部分が少し斜めにずれた状態になります。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

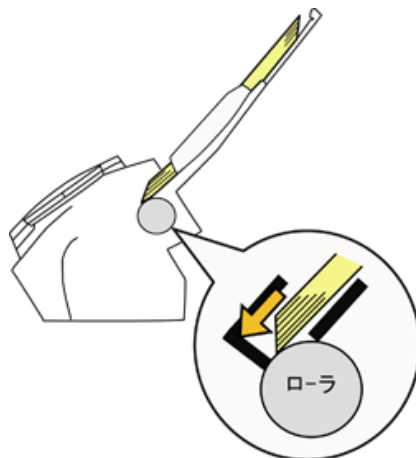
付録



6.1 原稿づまりが発生したときは(3)



4. 図のようにADF給紙シートに原稿をセットします。



原稿づまりやマルチフィードが多発する場合の原稿セット手順を以下の動画で確認できます。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



6.2 操作パネルのエラー表示




スキャナにトラブルが発生すると、一時的なエラーの場合「U」と数字が、装置異常の場合「E」と数字それぞれ交互に、操作パネルに表示されます。一時的なエラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、専門のサポートエンジニアによる復旧作業が必要となります。

お使いのパソコンにError Recovery Guideがインストールされている場合、Windowsの起動と同時にError Recovery Guideのウィンドウが表示されます。エラーや装置異常が発生すると、エラーの名称やコード番号などの関連情報が、Error Recovery Guideの画面に表示されます。画面に表示される情報を書き留めて、[詳細]ボタンを押し、対処方法を確認してください。

■ 一時的エラー：

以下の"U"と数字が交互にが表示されます。：

| 表示 | 項目 |
|----|--------------------------|
| U1 | 原稿づまりが発生しました。 |
| U2 | マルチフィードが発生しました。 |
| U4 | 読み取り中に ADFカバーがオープンされました。 |



ヒント

Error Recovery Guide は、Setup CD-ROMに収録されています。アプリケーションソフトウェアをインストールするには、fi-5110C スタートアップガイドの「2.1 ソフトウェアをインストールします」を参照してください。



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 6.1 原稿づまりが発生したときは |
| 6.2 操作パネルのエラー表示 |
| 6.3 困ったときには |
| 6.4 サービスセンターに連絡する前に |
| 6.5 装置ラベルの確認 |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



6.2 操作パネルのエラー表示(2)



■ 装置異常:

以下の"E"と英数字が交互に表示されます。

| 表示 | 項目 |
|----|------------------------------|
| E2 | 光学系 (表)に異常が発生しました。 |
| E3 | 光学系 (裏)に異常が発生しました。 |
| E4 | モーターヒューズが切断しました。 |
| E6 | スキャナの電源投入時に、操作パネルに異常が発生しました。 |
| E7 | EEPROMに異常が発生しました。 |
| E9 | 画像メモリにエラーが発生しました。 |
| Ec | メモリにエラーが発生しました。 |

装置異常が起こった場合は、いったんスキャナの電源を切ってから、電源を入れ直してください。ファンクションナンバーディスプレイに、同じ装置異常が表示される場合は、スキャナをお求めになった販売店、または[PFU イメージング サービス&サポートセンター](#)までお問い合わせください。



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 6.1 原稿づまりが発生したときは |
| 6.2 操作パネルのエラー表示 |
| 6.3 困ったときには |
| 6.4 サービスセンターに連絡する前に |
| 6.5 装置ラベルの確認 |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



6.3 困ったときには

スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。項目を点検しても直らない場合は、「6.4 サービスセンターに連絡する前に」の各項目を確認して、ご購入の販売代理店、または「[PFUイメージング サービス&サポートセンター](#)」にお問い合わせしてください。

- ▶ [スキャナの電源が入らない。](#)
- ▶ [ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える。](#)
- ▶ [読み取りが開始されない。](#)
- ▶ [絵や写真の読み取り結果が良くない。](#)
- ▶ [文字や線の読み取り結果が良くない。](#)
- ▶ [画像がゆがむ、または鮮明でない。](#)
- ▶ [読み取った画像に縦線が出る。](#)
- ▶ [スキャナに電源が入った後で、ファンクションナンバーディスプレイに異常（「E」またはその他の数字や文字）が表示されている。](#)
- ▶ [マルチフィードが頻繁に起こる。](#)
- ▶ [原稿がADFに送り込まれない状態が頻繁に起こる。](#)
- ▶ [原稿づまりが頻繁に起こる。](#)
- ▶ [ADFに原稿をセットして読み取ったとき、読み取った画像が間延びする。](#)
- ▶ [読み取った画像の先端または後端に影がある。](#)

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



症状: スキャナの電源が入らない。

← 一覧に戻る

電源ケーブルおよびACアダプターが正しく接続されていますか？



いいえ

電源ケーブルを正しく接続してください。



はい

ACアダプターは、添付のものを使っていますか？



いいえ

ACアダプターは必ず添付のものをお使いください。



はい

電源ボタンを押しましたか？



いいえ

電源ボタンを押してください。



はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



症状： ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える。

← 一覧に戻る

操作パネルのいずれかのボタンを押した後も、ディスプレイに何も表示されないままですか？



いいえ

スキャナは正常に動作しています。



はい

スキャナの電源の再投入を行っても、表示は消えたままですか？



いいえ

スキャナは正常に動作しています。



はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



症状：読み取りが開始されない。

← 一覧に戻る

ADF給紙シュートに原稿が正しくセットされていますか？



原稿をADF給紙シュートにセットしてください。

いいえ



はい

ADFは完全に閉まっていますか？



ADF給紙シュートの原稿を取り除き、ADFを開いて、閉じてください。

いいえ



はい

USB ケーブルは正しく接続されていますか？

USB ケーブルを正しく接続してください。
参照：「スタートアップガイド」
2.3 USBケーブルの接続

いいえ



はい

USB ケーブルのコネクタが壊れていますか？



新しいUSB ケーブルを使用して、正しく接続してください。

はい



いいえ

スキャナを再起動した後も、読み取りが開始されませんか？



スキャナは正常に動作しています。

いいえ



はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



症状：絵や写真の読み取り結果が良くない。

← 一覧に戻る

ハーフトーンまたはディザリングを選択していますか？



いいえ

パソコンで、ハーフトーン処理またはディザリング処理を選択してください。



はい

ADF内部のガラス面はきれいですか？



いいえ

汚れている部分を清掃してください。
「[第4章 日常のお手入れ](#)」を参照してください。



はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



症状：文字や線の読み取り結果が良くない。

← 一覧に戻る

ADF内部のガラス面はきれいですか？

いいえ

汚れている部分を清掃してください。
「[第4章 日常のお手入れ](#)」を参照してください。

はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



症状：画像がゆがむ、または鮮明でない。

← 一覧に戻る

ADF内部のガラス面はきれいですか？

いいえ

汚れている部分を清掃してください。
「[第4章 日常のお手入れ](#)」を参照してください。

はい

ADFで読み取り中に、ADFの上部を押さえつけていますか？ または上に重いものを置いていますか？

はい

ADFの上部を押さえついたり、上に重いものを置いたりしないでください。

いいえ

ADFで読み取り中に、スキャナに振動を与えてはいませんか？

はい

読み取り中に、スキャナに振動を与えないようにしてください。

いいえ

スキャナは水平で平らな面に置かれていますか？ または、スキャナのゴム脚がなくなっていないですか？

いいえ

スキャナを水平で平らな面に置いてください。または、ゴム脚を取り付けてください。

はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



症状：読み取った画像に縦線が出る。

← 一覧に戻る

画像の同じ場所に線が表示されていますか??

はい

ガラスを清掃してください。
「[4.3 スキャナ内部の清掃](#)」を参照してください。

いいえ

解像度を低く設定すると、縦線は消えますか??

はい

解像度を低く設定して、原稿を読み取ってください。

いいえ

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

目次



- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 原稿を読み取ります
- 第3章 いろいろな読み取り方法について
- 第4章 日常のお手入れ
- 第5章 消耗品を交換します
- 第6章 困ったときには
 - 6.1 原稿づまりが発生したときは
 - 6.2 操作パネルのエラー表示
 - 6.3 困ったときには
 - 6.4 サービスセンターに連絡する前に
 - 6.5 装置ラベルの確認
- 第7章 ADFにセットする原稿について
- 第8章 オプション
- 第9章 スキャナの仕様
- 付録



症状: スキャナに電源が入った後で、ファンクションナンバーディスプレイに異常(「E」またはその他の数字や文字)が表示されている。

← 一覧に戻る

スキャナの電源を入れなおした後も、ファンクションナンバーディスプレイに異常が表示されますか?



いいえ

スキャナは正常に動作しています。



はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

目次

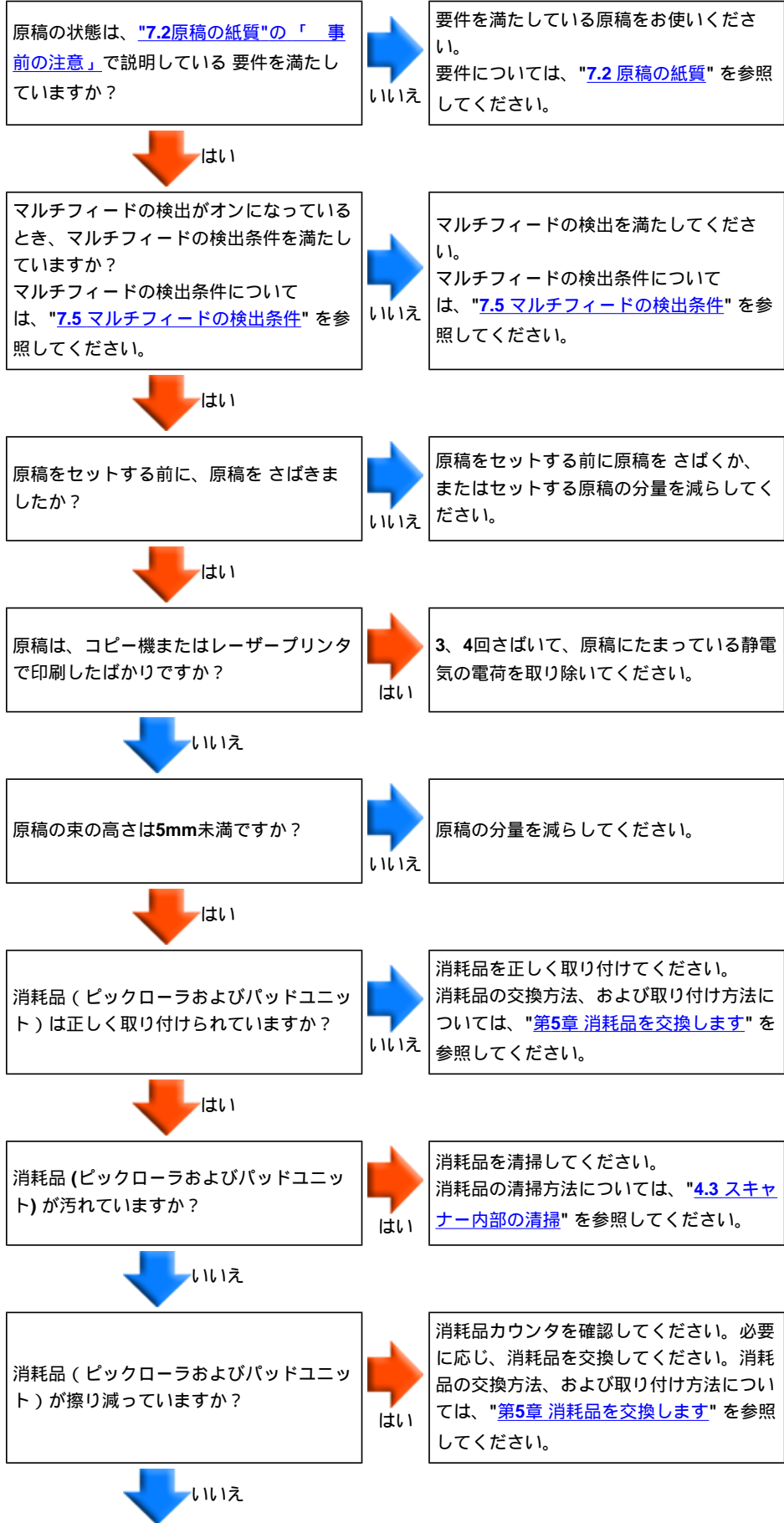


- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 原稿を読み取ります
- 第3章 いろいろな読み取り方法について
- 第4章 日常のお手入れ
- 第5章 消耗品を交換します
- 第6章 困ったときには
 - 6.1 原稿づまりが発生したときは
 - 6.2 操作パネルのエラー表示
 - 6.3 困ったときには
 - 6.4 サービスセンターに連絡する前に
 - 6.5 装置ラベルの確認
- 第7章 ADFにセットする原稿について
- 第8章 オプション
- 第9章 スキャナの仕様
- 付録



症状：マルチフィードが頻繁に起こる。

← 一覧に戻る



以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED, 2006

目次



- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 原稿を読み取ります
- 第3章 いろいろな読み取り方法について
- 第4章 日常のお手入れ
- 第5章 消耗品を交換します
- 第6章 困ったときには
 - 6.1 原稿づまりが発生したときは
 - 6.2 操作パネルのエラー表示
 - 6.3 困ったときには
 - 6.4 サービスセンターに連絡する前に
 - 6.5 装置ラベルの確認
- 第7章 ADFにセットする原稿について
- 第8章 オプション
- 第9章 スキャナの仕様
- 付録



症状：原稿がADFに送り込まれない状態が頻繁に起こる。

← 一覧に戻る

原稿の状態は、「[7.2 原稿の紙質](#)」の「[事前の注意](#)」で説明している要件を満たしていますか？

いいえ

要件を満たしている原稿をお使いください。要件については、「[7.2 原稿の紙質](#)」を参照してください。

はい

ADF給紙シートにセットする前に、原稿をさばきましたか？

いいえ

原稿をセットする前に原稿をさばくか、またはセットする原稿の分量を減らしてください。

はい

消耗品（ピックアップおよびパッドユニット）は正しく取り付けられていますか？

いいえ

消耗品を正しく取り付けてください。パッドユニットの取り付け方法については、「[5.2 パッドユニットを交換します](#)」を参照してください。

はい

消耗品（ピックアップおよびパッドユニット）が汚れていますか？

はい

消耗品を清掃してください。ピックアップの清掃方法については、「[4.3 スキャナ内部の清掃](#)」を参照してください。

いいえ

消耗品（ピックアップおよびパッドユニット）が磨り減っていますか？

はい

消耗品カウンタを確認してください。必要に応じて消耗品を交換してください。ピックアップの交換方法については、「[5.3 ピックローラを交換します](#)」を参照してください。

いいえ

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 6.1 原稿づまりが発生したときは |
| 6.2 操作パネルのエラー表示 |
| 6.3 困ったときには |
| 6.4 サービスセンターに連絡する前に |
| 6.5 装置ラベルの確認 |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



症状：原稿づまりが頻繁に起こる。

← 一覧に戻る

原稿の状態は、「[7.2 原稿の紙質](#)」の「[事前の注意](#)」で説明している要件を満たしていますか？

いいえ

要件を満たしている原稿をお使いください。
要件については、「[7.2 原稿の紙質](#)」を参照してください。

はい

ADFの内部に異物が入り込んでいませんか？

はい

ADFを清掃するか、またはADFから異物を取り除いてください。
ADFの清掃方法については、「[4.3 スキャナ内部の清掃](#)」を参照してください。

いいえ

消耗品（ピックアップおよびパッドユニット）が正しく取り付けられていますか？

いいえ

消耗品を正しく取り付けてください。
パッドユニットの取り付け方法については、「[5.2 パッドユニットを交換します](#)」を参照してください。

はい

消耗品（ピックアップおよびパッドユニット）が汚れていますか？

はい

消耗品を清掃してください。
ADFの清掃方法については、「[4.3 スキャナ内部の清掃](#)」を参照してください。

いいえ

消耗品（ピックアップおよびパッドユニット）が磨り減っていますか？

はい

消耗品カウンタを確認してください。必要に応じて、消耗品を交換してください。消耗品カウンタの詳細については、「[第5章 消耗品の交換します](#)」を参照してください。

いいえ

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。

目次



- はじめに
- 第1章 各部の名称と機能
- 第2章 原稿を読み取ります
- 第3章 いろいろな読み取り方法について
- 第4章 日常のお手入れ
- 第5章 消耗品を交換します
- 第6章 困ったときには
 - 6.1 原稿づまりが発生したときは
 - 6.2 操作パネルのエラー表示
 - 6.3 困ったときには
 - 6.4 サービスセンターに連絡する前に
 - 6.5 装置ラベルの確認
- 第7章 ADFにセットする原稿について
- 第8章 オプション
- 第9章 スキャナの仕様
- 付録



症状 : ADFに原稿をセットして読み取ったとき、読み取った画像が間延びする。

[←一覧に戻る](#)

各ローラを清掃しましたか？



いいえ

各ローラを清掃してください。
各ローラの清掃方法については、「[4.3 スキャナ内部の清掃](#)」を参照してください。



はい

読み取り倍率を調整しましたか？



はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。



いいえ

読み取り倍率を調整してください。
コントロールパネル内にある「スキャナとカメラ」から、使用するスキャナのプロパティを表示して、読み取り倍率を調整してください。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

6.1 原稿づまりが発生したときは

6.2 操作パネルのエラー表示

6.3 困ったときには

6.4 サービスセンターに連絡する前に

6.5 装置ラベルの確認

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



症状：読み取った画像の先端または後端に影がある。

← 一覧に戻る

オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？



はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」の項目をチェックして、ご購入の販売店または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。



いいえ

読み取り倍率を調整してください。
[コントロールパネル]から[スキャナとカメラ]を選択し、[装置設定]タブから「副走査」（画像の先端に影がある場合）または「後端」（画像の後端に影がある場合）のオフセット量を調整してください。

目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 6.1 原稿づまりが発生したときは |
| 6.2 操作パネルのエラー表示 |
| 6.3 困ったときには |
| 6.4 サービスセンターに連絡する前に |
| 6.5 装置ラベルの確認 |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



6.4 サービスセンターに連絡する前に



ファンクションナンバーディスプレイに、異常が表示されたままの場合は、スキャナをお求めになった販売店、または[PFU イメージングサービス & サポートセンター](#)までお問い合わせください。なお、サービスセンターにご連絡いただく際には、次の情報の準備をお願いいたします。

準備する情報：

1. Model名: 本装置の場合fi-5110C
2. 製品番号 (SER. No.): (例) 000001
シリアルナンバーについては、「[6.5 装置ラベルの確認](#)」を参照してください。
3. 製造年月日: (例) 2004-08 (2004年8月)
製造年月日については、「[6.5 装置ラベルの確認](#)」を参照してください。

下のリンクをクリックすると、チェックリストの印刷用画面が表示されます。チェックリストを印刷し、必要な情報をご記入の上、サービスセンターまでお問い合わせください。

[▶ チェックリスト](#)



注記

Windows XP Service Pack 2 をご使用の場合

Internet Explorerのセキュリティ機能が働き、チェックリストが正しく使用できないことがあります。正しく表示させるためには、ブロックされているアクティブコンテンツを許可してください。



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 6.1 原稿づまりが発生したときは |
| 6.2 操作パネルのエラー表示 |
| 6.3 困ったときには |
| 6.4 サービスセンターに連絡する前に |
| 6.5 装置ラベルの確認 |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



6.4 サービスセンターに連絡する前に(2)



■ 修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心して富士通イメージスキャナfiシリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

■ 契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

定額訪問修理サービス

機器の故障発生時には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。

メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応を行います。

全国サービスネットによる迅速な保守対応を行います。

定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。

機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応をおこないます。

機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

■ スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理を行います。

| | |
|-------------------|---|
| センドバック修理サービス | 持込基本料+ 部品費 (送料：発送元負担) |
| 引き取り修理サービス (付加) | 指定日に修理機を引き取ります。 |
| 代替機サービス (付加)*1 *2 | 修理中に代替機を貸出します。(引取りと併用) |
| キャンセル料 | 持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合などにかかります。 |

*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

*2 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスののみのご利用はできません。ご了承ください。

オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

| | |
|-------------|---|
| オンサイト修理サービス | 訪問基本料金 (作業時間 = 1時間まで) + 部品費 + オプション料金 + 加算料金 (技術料金。その他加算料金) |
|-------------|---|

| スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ | |
|-------------------------------|---|
| 受付窓口 | PFU イメージング サービス&サポートセンター |
| E-mail | scanners@pfu.fujitsu.com |
| 電話 | 0120 - 37 - 9089 |
| | 042 - 788 - 7746 (携帯電話からおかけの場合) |
| 受付時間 | 月～金曜日 9:00～12:00、13:30～17:00 (土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く) |
| ホームページ | http://imagescanner.fujitsu.com/jp/ |

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、またはPFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

■ 消耗品の購入先

ピックアップなどの消耗品のご購入については、本装置を購入された販売代理店、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社

TEL: 0120-505-279 (お客様総合センター)

<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

電話お問い合わせ受け付け時間

月～金 / 9 : 00 ~ 17 : 30

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

本製品の修理はお客様自身では行わないでください。

本製品の保証条件については、製品に同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。

保証書には所定事項をご記入の上、大切に保管願います。

本製品の修理部品の最低供給期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。

目次

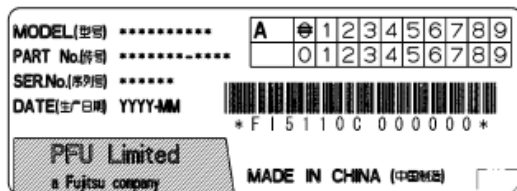
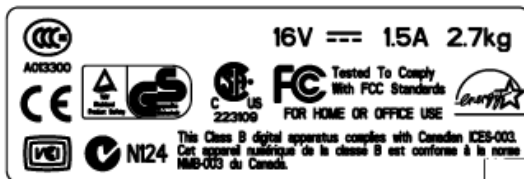


| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 6.1 原稿づまりが発生したときは |
| 6.2 操作パネルのエラー表示 |
| 6.3 困ったときには |
| 6.4 サービスセンターに連絡する前に |
| 6.5 装置ラベルの確認 |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



6.5 装置ラベルの確認

本装置のラベルは以下のとおりです。



装置ラベルの位置は以下のとおりです。



All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED, 2006

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

7.1 原稿のサイズ

7.2 原稿の紙質

7.3 セットできる原稿の枚数

7.4 穴をあけてはいけない領域

7.5 マルチフィードの検出条件

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



第7章 ADFにセットする原稿について

この章では、ADFが正しく動作するために必要な原稿のサイズと原稿の紙質について説明します。

目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 7.1 原稿のサイズ |
| 7.2 原稿の紙質 |
| 7.3 セットできる原稿の枚数 |
| 7.4 穴をあけてはいけない領域 |
| 7.5 マルチフィードの検出条件 |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



7.1 原稿のサイズ

以下に、ADF で読み取り可能な原稿のサイズを示します。



| 最大 | | 最小 | |
|-----|-----|----|----|
| A | B | A | B |
| 216 | 356 | 53 | 74 |

目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 7.1 原稿のサイズ |
| 7.2 原稿の紙質 |
| 7.3 セットできる原稿の枚数 |
| 7.4 穴をあけてはいけない領域 |
| 7.5 マルチフィードの検出条件 |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



7.2 原稿の紙質



■ 原稿の種類

用紙として推奨される用紙の種類は以下のとおりです。

上質紙
中質紙

上記以外の種類の用紙を使用する時には、読み取り操作を実行する前に、読み取りできるかどうかを少量の用紙で確認してください。

■ 原稿の紙厚

紙厚は坪量と呼ばれる重さで表します。使用可能な坪量は以下のとおりです。

52 g/m² ~ 127 g/m²
A8 サイズは127 g/m²のみ

■ 事前の注意

以下の原稿はうまく読み取れない場合があります。

紙厚が一定していない原稿（封筒など）
しわがよっていたり、カールしている原稿（[次ページのヒント](#)を参照）
折れたり、裂けたりしている原稿
トレーシングペーパー
コート紙
カーボン紙
ノーカーボン紙
感光紙
端にミシン目や穴あけのある原稿
四角形でない原稿
非常に薄い原稿

また、以下の原稿は使用しないで下さい。

クリップまたはステープラーの針が付いた原稿
インクが乾いていない原稿
A8（縦置き）サイズよりも小さい原稿
A4サイズやレターサイズの幅（216mm）より大きい原稿
紙以外のもの：布、金属箔、OHP フィルム



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 7.1 原稿のサイズ |
| 7.2 原稿の紙質 |
| 7.3 セットできる原稿の枚数 |
| 7.4 穴をあけてはいけない領域 |
| 7.5 マルチフィードの検出条件 |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



7.2 原稿の紙質(2)



ヒント

半透明の原稿を読み取る時は、「明るさ」を明るめに設定してください。ローラが汚れないようにするために、鉛筆で塗りつぶした原稿の読み取りは避けてください。やむをえずこのような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃してください。



注記

ノーカーボン紙は、パッドユニットや原稿を送るローラ類(ピックローラなど)を損なうような化学物質を含んでいますので、以下のことに注意してください。

清掃：

原稿づまりが頻繁に起きるときは、パッドユニットとピックローラを清掃してください。

パッドユニットとピックローラの清掃方法については、「[4.2 スキャナ内部の清掃](#)」を参照してください。

部品の交換：

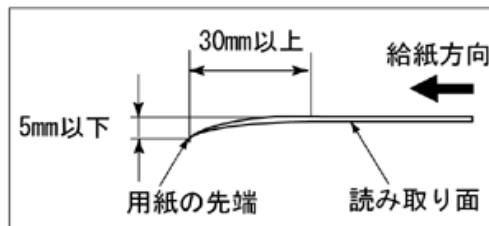
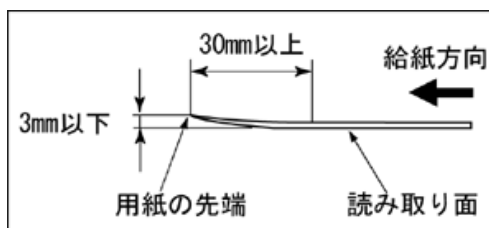
パッドユニットとピックローラの寿命は中質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなるかもしれません。

中質紙の原稿を読み取った場合、パッドユニットとピックローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。



ヒント

ADF を使う場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカーブは以下の数値を満たすようにしてください。



目次

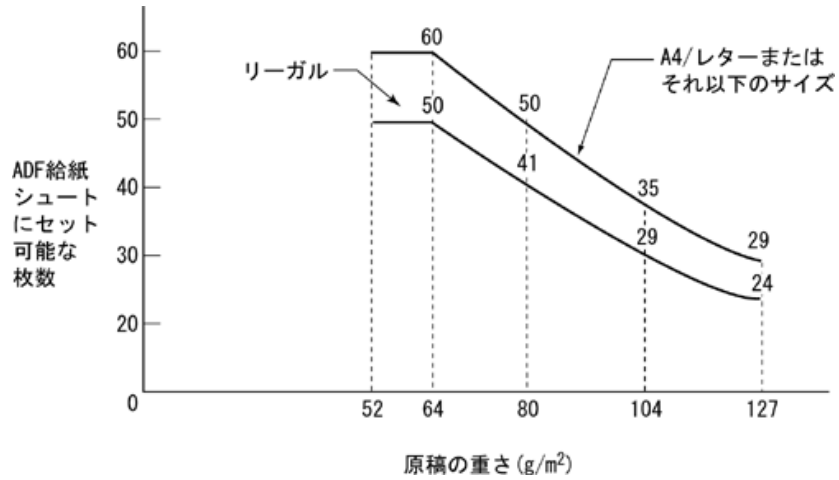


| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 7.1 原稿のサイズ |
| 7.2 原稿の紙質 |
| 7.3 セットできる原稿の枚数 |
| 7.4 穴をあけてはいけない領域 |
| 7.5 マルチフィードの検出条件 |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



7.3 セットできる原稿の枚数

ADF給紙シュートにセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと重さで決まります。以下のグラフを参照してください。



| 重さの単位 | 変換表 | | | | | | |
|-----------------------|-----|----|------|----|------|-----|-----|
| g/m ² (坪量) | 52 | 64 | 75 | 80 | 90 | 104 | 127 |
| lb | 14 | 17 | 20 | 21 | 24 | 28 | 34 |
| kg (連量) | 45 | 55 | 64.5 | 69 | 77.5 | 90 | 110 |

目次

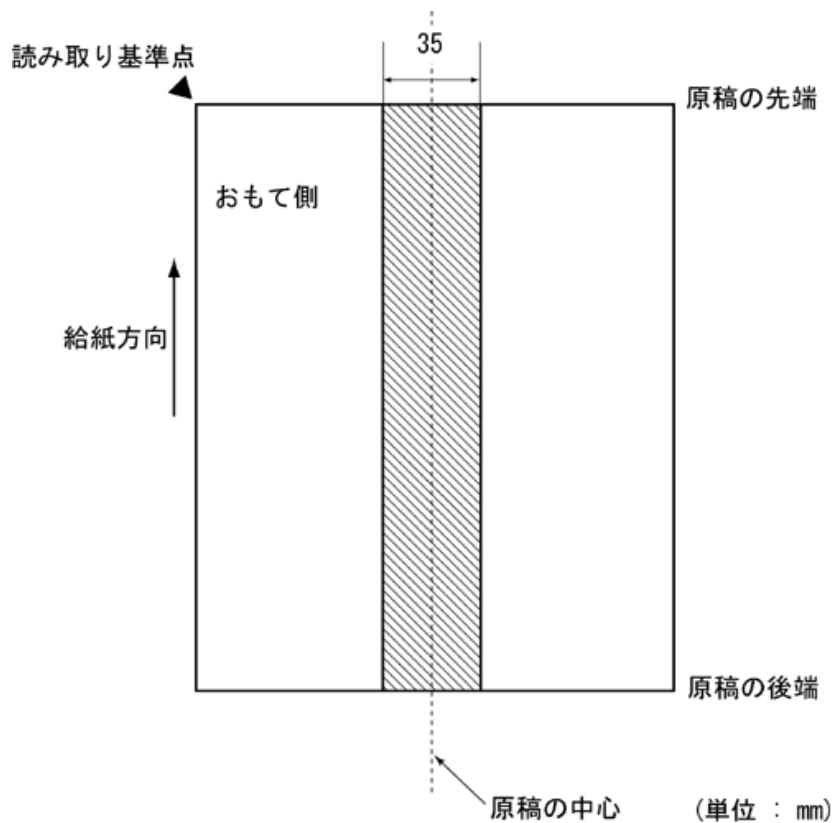


| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 7.1 原稿のサイズ |
| 7.2 原稿の紙質 |
| 7.3 セットできる原稿の枚数 |
| 7.4 穴をあけてはいけない領域 |
| 7.5 マルチフィードの検出条件 |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |



7.4 穴をあけてはいけない領域

以下の図の斜線の領域に穴があるとエラーの原因になることがあります。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

7.1 原稿のサイズ

7.2 原稿の紙質

7.3 セットできる原稿の枚数

7.4 穴をあけてはいけない領域

7.5 マルチフィードの検出条件

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録



7.5 マルチフィードの検出条件



マルチフィードの検出には原稿の厚さ、原稿の長さ、または原稿の厚さと長さの両方をチェックします。検出を正しくおこなうには以下の条件が必要です。

■ 原稿の厚さをチェックする場合

(ADFにセットして一度に読み取る原稿の厚さは同じものを使用してください。)

原稿の厚さ：0.065 mm ~ 0.15 mm

印字率：12%、またはそれ以下

原稿先端中央部（26 mm x 10 mm）には、黒い印刷部分があってはいけません。

原稿の中心線を挟む35 mmの領域には穴あけをしてはいけません。

背景色の領域を透過する光の量は、ばらつきが10%より小さくなくてはなりません。

■ 原稿の長さをチェックする場合

(ADFにセットして一度に読み取る原稿の長さは同じものを使用してください。)

原稿の長さのばらつき：1%、またはそれ以下

原稿の中心線を挟む35 mmの領域には穴あけをしてはいけません。

■ 原稿の厚さと長さの両方をチェックする場合

(ADFにセットして一度に読み取る原稿の厚さ、および長さは同じものを使用してください。)

原稿の厚さ：0.065 mm ~ 0.15 mm

原稿の長さのばらつき：1%またはそれ以下

印字率：12%またはそれ以下

原稿先端中央部（26 mm x 10 mm）には、黒い印刷部分があってはいけません。

原稿の中心線を挟む35 mmの領域には穴あけをしてはいけません。

背景色の領域を透過する光の量は、ばらつきが10%より小さくなくてはなりません。



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 7.1 原稿のサイズ |
| 7.2 原稿の紙質 |
| 7.3 セットできる原稿の枚数 |
| 7.4 穴をあけてはいけない領域 |
| 7.5 マルチフィードの検出条件 |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |

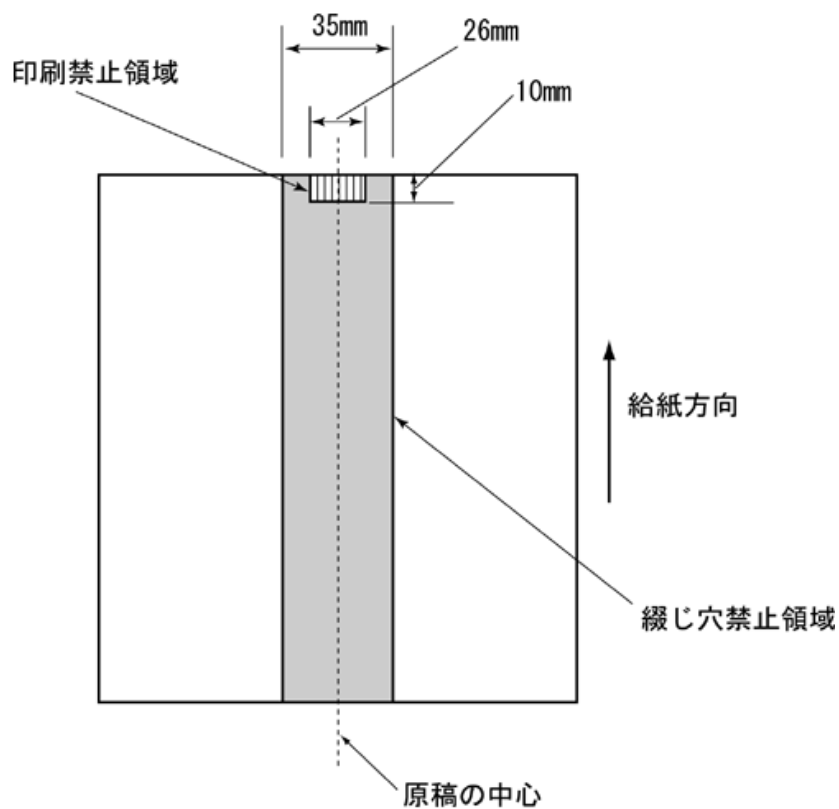


7.5 マルチフィードの検出条件(2)



ヒント

原稿や原稿の条件によってはマルチフィードの検出率が落ちる場合もあります。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

8.1 画像処理ソフトウェアオプション

第9章 スキャナの仕様

付録



第8章 オプション

この章では、本装置のオプション（別売）について説明します。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

8.1 画像処理ソフトウェアオプション

第9章 スキャナの仕様

付録



8.1 画像処理ソフトウェアオプション

fi-5110C イメージスキャナ オプション

| No. | 名称 | 仕様 | 項目 |
|-----|-----------------|----------------|--------------------|
| 1 | 画像処理ソフトウェアオプション | PA43400-D72201 | 画像処理 (2値化)をおこないます。 |

FUJITSU イメージスキャナ fiシリーズ用のソフトウェアオプションです。“FUJITSU TWAIN 32”および“FUJITSU ISIS”と組み合わせて使用することによって、高度な2値化画像処理をおこなうことができます。

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

9.1 装置基本仕様

9.2 設置諸元

9.3 外形寸法

付録



第9章 スキャナの仕様

この章では、スキャナの仕様について説明します。

目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 9.1 装置基本仕様 |
| 9.2 設置諸元 |
| 9.3 外形寸法 |
| 付録 |



9.1 装置基本仕様



| No. | 項目 | | 仕様 | 備考 |
|-----|---------------------------|---------------------|--|---------------------------------|
| 1 | スキャナタイプ | | ADF(オートマチックドキュメントフィーダ) | |
| 2 | イメージセンサー | | CCD x 2 | 表/裏 |
| 3 | 光源 | | 白色冷陰極蛍光放電管 x2 | 表/裏 |
| 4 | 読み取り範囲 | 最小 | A8 縦 | (*1) |
| | | 最大 | A4 または リーガル 長尺 読み取り時: 216x864mm | |
| 5 | 原稿の厚さ | | 52 g/m ² ~ 127 g/m ² | (*1) |
| 6 | 読み取り速度 (A4, 縦) (*2) | バイナリ (2 値白 黒) | 片面15枚/分、 両面30面/分 | 200 dpi |
| | | カラー | 片面15枚/分、 両面30面/分 | 150 dpi |
| 7 | 原稿搭載容量 | | 50 枚 | A4, 80 g/m ² (*3) |

*1 詳細は"[第7章 ADFにセットする原稿について](#)"を参照してください。

*2 読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。

*3 最大枚数は原稿の厚さによって変わります。"[第7章 ADFにセットする原稿について](#)"を参照してください。



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |

9.1 装置基本仕様

9.2 設置諸元

9.3 外形寸法

付録



9.1 装置基本仕様 (2)



| No. | 項目 | 仕様 | 備考 | |
|-----|-------------|----------------|--------------|--------------|
| 8 | 光学解像度 | 600 dpi | | |
| 9 | 出力解像度 | バイナリ (2値白黒) | 50 ~ 600 dpi | 1 dpiごとに変倍可能 |
| | | グレースケール | 50 ~ 600 dpi | 1 dpiごとに変倍可能 |
| | | カラー | 50 ~ 600 dpi | 1 dpiごとに変倍可能 |
| 10 | 出力モード (中間調) | ディザ/誤差拡散 | | |
| 11 | インターフェース | USB 2.0/1.1 | Bタイプ | |
| 12 | その他の機能 | JPEG圧縮 | | |



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |

9.1 装置基本仕様

9.2 設置諸元

9.3 外形寸法

付録



9.2 設置諸元



| 項目 | | 仕様 | | |
|-----------------------------|-------|--|----------|--------|
| 外形寸法 (ADF給紙シュートとスタッカー除く) | | 奥行 | 幅 | 高さ |
| | | 166 mm | 293.5 mm | 130 mm |
| 設置スペース | | 奥行 | 幅 | 高さ |
| | | 850 mm | 493.5 mm | 380 mm |
| 質量 | | 2.7Kg | | |
| 入力電源 | 電圧範囲 | AC100V ~ 120V, ±10% AC220V ~ 240V, ±10% | | |
| | 相 | 単相 | | |
| | 周波数範囲 | 50/60 ±3 Hz | | |
| 消費電力 | | 28 W以下 | | |



注記

設置スペースの値は、A4原稿を読み取る場合に必要となる設置スペースの参考値です。



目次



| |
|---------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 9.1 装置基本仕様 |
| 9.2 設置諸元 |
| 9.3 外形寸法 |

付録



9.2 設置諸元(2)



| 項目 | | 仕様 | |
|--------|------|---------------|-----------|
| 動作環境 | 装置状態 | 動作中 | 非使用時 |
| | 温度 | 5 ~ 35 | - 20 ~ 60 |
| | 湿度 | 20 ~ 80 % | 8 ~ 95 % |
| 発熱量 | | 24.1 kcal/H以下 | |
| 出荷時重量 | | 4.5 kg | |
| サポート期間 | | 5年 | |



注記

本装置の寿命は、お買い上げ後5年、またはご使用枚数50万枚のいずれか早い方となります。

ご使用枚数については、"[5.1 消耗品の番号と交換周期](#)"を参照してください。

お客様の清掃、消耗品の交換周期、お使いの原稿など、当社が推奨する条件を満たしていない場合は、装置寿命50万枚を下回る場合があります。寿命を超えてご使用された場合は、装置の故障または読み取り性能に支障が出る場合があります。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

9.1 装置基本仕様

9.2 設置諸元

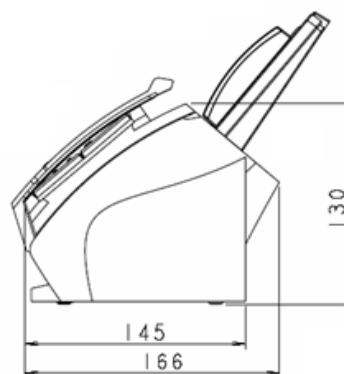
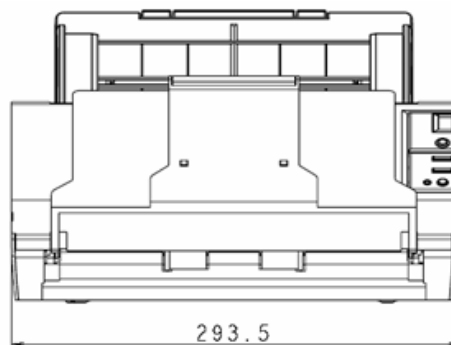
9.3 外形寸法

付録



9.3 外形寸法

fi-5110Cの外形寸法は以下のとおりです。



目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録

付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に

付録 2 用語解説



付録

付録は以下の構成になっています。

付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に
付録 2 用語解説

目次



はじめに

第1章 各部の名称と機能

第2章 原稿を読み取ります

第3章 いろいろな読み取り方法について

第4章 日常のお手入れ

第5章 消耗品を交換します

第6章 困ったときには

第7章 ADFにセットする原稿について

第8章 オプション

第9章 スキャナの仕様

付録

付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に

付録 2 用語解説

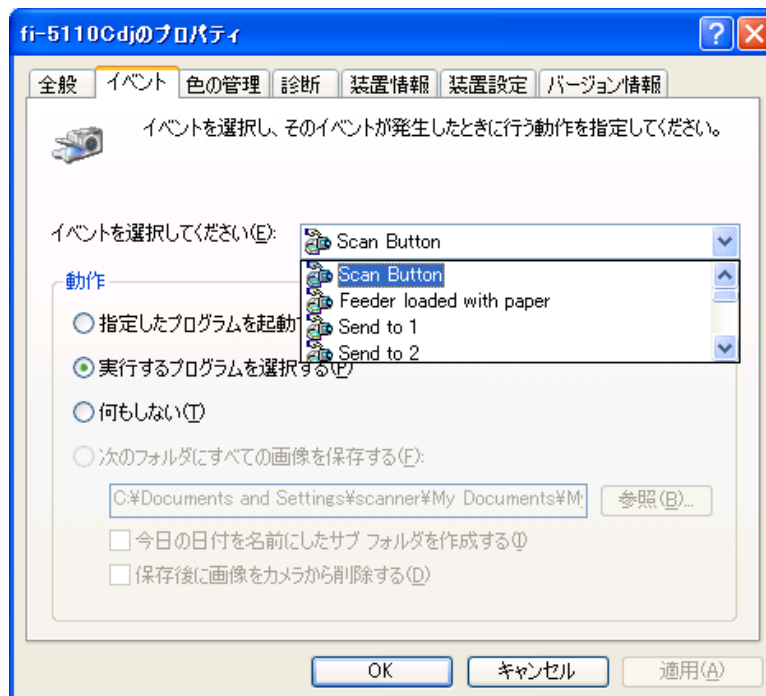


付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に



あらかじめ[Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンにアプリケーションの関連付けを設定しておくことで、ボタンを押すと設定したアプリケーションを起動することができます。

1. [スタート]から[コントロールパネル]を選択します。
2. [スキャナとカメラ]より[プロパティ]を選択します。
3. [イベント]タブを選択します。
4. イベントを選択します。Windows XPの場合は、[イベントを選択してください] のメニューから、アプリケーションを起動するイベントを選択します。



本機能では、以下のイベントを選択できます。
 Scan button ([Scan]ボタンを押したとき)
 Feeder loaded with paper (ADFに原稿をセットしたとき)
 Send to 1 ~ 9([Send to]ボタンを押したとき)



目次



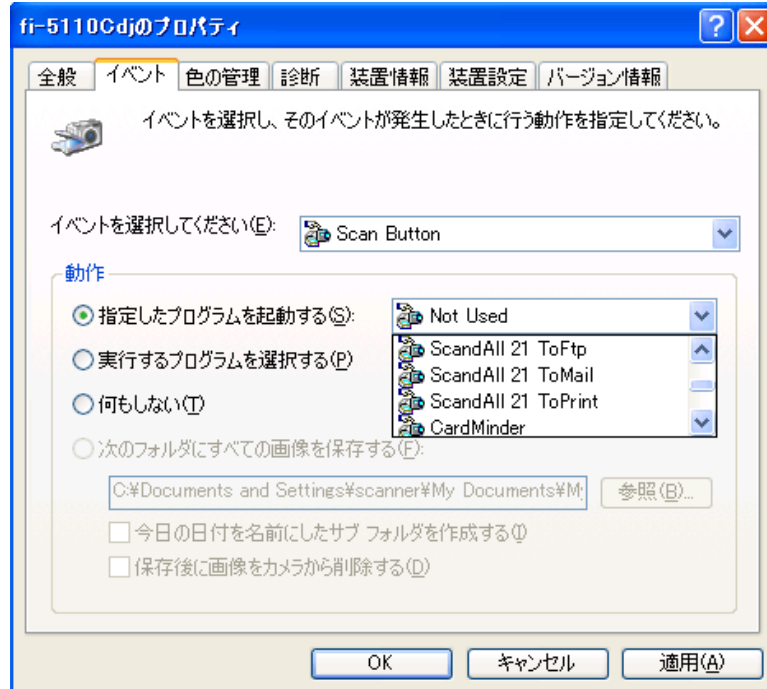
| |
|------------------------------------|
| はじめに |
| 第1章 各部の名称と機能 |
| 第2章 原稿を読み取ります |
| 第3章 いろいろな読み取り方法について |
| 第4章 日常のお手入れ |
| 第5章 消耗品を交換します |
| 第6章 困ったときには |
| 第7章 ADFにセットする原稿について |
| 第8章 オプション |
| 第9章 スキャナの仕様 |
| 付録 |
| 付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に |
| 付録 2 用語解説 |



付録 1 [Scan]ボタンおよび[Send to]ボタンを使う前に (2)



5. イベントで起動するアプリケーションと実行する処理を選択します。Windows XPの場合は、[動作]の下の[指定したプログラムを起動する]を選択して、右のメニューからアプリケーションと処理を選択します。



6. [OK] をクリックします。



ヒント

ADFに原稿をセットしたときにポップアップ画面が表示される場合があります。この画面を表示しないように設定するには、[イベントを選択してください]から[Feeder loaded with paper]を選択し、[動作]下の[何もしない]を選択してから[OK]をクリックしてください。
お使いのOSによって表示される画面および操作が異なります。

